

AI重要出願・類似出願分析レポート

スマート農業

分析対象特許情報：日本（JP）

2026年3月13日

イノベーションリサーチ株式会社

Contents

I 重要出願

1. 重要出願上位10件
2. 重要出願上位10件の詳細情報

II 類似出願

1. 探索をする概念と類似出願の傾向
2. 類似出願上位100件の一覧
3. 類似出願上位100件の詳細情報

I 重要出願

抽出条件：

① 技術概念の中心性が高いこと

他の多数の出願と概念的に近い（＝後続技術が集まりやすい）もの → 技術群の「核」になっている可能性が高い

② 比較的早期の出願であること

同一技術群の中で出願日が早い → 後続出願の基礎になっている可能性が高い

この2点を組み合わせたスコアにより、「重要出願候補」上位10件を抽出

分析対象範囲：

特許請求の範囲（全請求項）

I -1 重要出願上位10件

重要出願としては、農園・圃場・収穫後処理までを含む内容が中心です。具体的には、農園の気象自動制御、無人作業車、収穫機の品質計測、作物情報管理、遠隔灌水、牧畜の健康管理など、センサー・通信・自動制御を使って省人化と精密管理を進める内容が目立ちます。出願人はクボタが6件と多く、他に、ヤンマー、ホンダ、パナソニック、矢崎総業などが存在しています。

重要出願No.1	重要出願No.2	重要出願No.3	重要出願No.4	重要出願No.5
特願平4-209607【発明の名称】農園管理装置【出願人】カルイ 本田技研工業【要約】【目的】無人管理の下で農園の気象条件を自動調整することができる農園管理装置を供する【構成】農園の複数箇所に配設されたファンをそれぞれファンモータ16により適宜駆動して農園内の空気を攪拌し…	特願平5-276348【発明の名称】作業車用の制御装置【出願人】クボタ【要約】【目的】中央制御部が全体を制御する集中制御形態でセンサ類等の信号配線の簡素化を図りながら通信速度の高速化をより低い装置コストで実現する【構成】中央制御部CUと機体各部に分散配置される複数個の端末制御部…	特願平3-154896【発明の名称】無人作業車【出願人】ヤンマーグループ【要約】【目的】自動操向・自動走行・自動作業を行い安定した直進性が得られる無人作業車を得る【構成】機体前端に設けたフロントアクスルケースと、機体後端に設けたリアアクスルケースを前後に…	特願平8-125296【発明の名称】コンバイン【出願人】クボタ【要約】【課題】刈高制御用の超音波センサーを利用してネズミ避けしながら格納できるようにする【解決手段】刈取装置の対地高さを検出する超音波センサー11に刈高補助回路13を介して連係している…	特願平9-128770【発明の名称】作物収穫機及び作物処理設備、並びに、それらを用いた作物処理システム及び作物処理方法【出願人】クボタ【要約】【課題】収穫後の後処理等を効率よく行えるようにしたり、作物の状態を正確に判別できるようにすること等が可能になる作物収穫機…
重要出願No.6	重要出願No.7	重要出願No.8	重要出願No.9	重要出願No.10
特願平10-100557【発明の名称】情報端末装置、農作業機、及び記録媒体【出願人】クボタ【要約】【課題】現実に近似した条件データを与えることにより、ユーザが予め育成結果が予測された育成手順を示す作業ガイダンス情報に従いながら、実際の稲を育成することが可能な…	特願平8-138625【発明の名称】牧畜健康管理システム【出願人】パナソニックグループ【要約】【課題】牧畜毎のきめの細かい健康管理が容易に行える牧畜健康管理システムを提供する【解決手段】牧畜に装着し牧畜の生体情報を検出する牧畜測定ユニットUMと、…	特願平9-213013【発明の名称】作物の情報管理システム【出願人】クボタ【要約】【課題】複数の圃場や複数の生産者等の互いに異なる生産状況での作物の品質情報を総合的に管理して、営農管理や作物の生産管理等に有効活用することができるようにする…	特願平4-157123【発明の名称】芝刈作業車の走行制御装置【出願人】クボタ【要約】【目的】芝有無検出手段の移動が異常になった場合に、芝有無検出手段の破損防止とともに作業を続行して作業能率の確保を図る【構成】芝有無検出手段22と、芝有無検出手段22を…	特願平9-98963【発明の名称】作物管理装置【出願人】矢崎総業【要約】【課題】育成環境データを遠隔操作で収集して作物の生育状況の観察を実行し、作物にとって最適な灌水制御を管理者側からの遠隔操作に依り実行する【解決手段】通信回線12を介して送信される給水命令…

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第1位

出願番号	特願平4-209607	特許番号	特許第3095894号
発明の名称	農園管理装置		
要約	【要約】 【目的】 無人管理の下で農園の気象条件を自動調整することができる農園管理装置を供する。【構成】 農園の複数箇所に配設されたファンをそれぞれファンモータ16により適宜駆動して農園内の空気を攪拌し所定の気象条件に維持する農園管理装置において、バッテリーを備え始動モータにより起動されるエンジンにより発電機を駆動するエンジン発電機1と、前記発電機の発電電力を前記複数のファンモータ16に分配して供給する配電装置104と、農園内の気象状態を検知する気象検知センサ15と、前記気象センサ15の検知信号に基づいて前記エンジン発電機1の始動および停止を指示する自動運転装置103とを備え、前記エンジン発電機1の始動および停止で前記複数のファンモータ16の始動・停止が制御されるように構成したことを特徴とする農園管理装置。		
出願人	カルイ 本田技研工業		
ファミリー 公報番号	JP3095894B2,JP7177827A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第2位

出願番号	特願平5-276348	特許番号	特許第2866560号
発明の名称	作業車用の制御装置		
要約	<p>【要約】 【目的】 中央制御部が全体を制御する集中制御形態でセンサ類等との信号配線の簡素化を図りながら、通信速度の高速化をより低い装置コストで実現する。【構成】 中央制御部C Uと機体各部に分散配置される複数個の端末制御部L U 1～L U 5 とが、相互間でセンサ類S Wからの検出信号やアクチュエータ類M, L, B に対する駆動信号等の各種データを通信できるように有線式の通信手段T で接続され、中央制御部C Uが、制御用の演算処理部C P U 1 とデータ中継用の通信用I C G A 1 とを備え、端末制御部L U 1～L U 5 が、センサ類S W及びアクチュエータ類M, L, B に対するデータ中継用の通信用I C G A 2 を備え、中央側の通信用I C G A 1 と端末側の通信用I C G A 2 とが、中央側として使用するための中央側用構成部分及び端末側として使用するための端末側用構成部分を備える状態に形成された同仕様の通信用I C G A に構成されている。</p>		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JP2866560B2,JPH07131860A		

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第3位

出願番号	特願平3-154896	特許番号	特許第2991533号
発明の名称	無人作業車		
要約	<p>【要約】【目的】 自動操向・自動走行・自動作業を行い安定した直進性が得られる無人作業車を得る。【構成】 機体前端に設けたフロントアクスルケースと、機体後端に設けたリアアクスルケースを前後に平行に配置し、両アクスルケース間に前輪及び後輪を配置し、前記フロントアクスルケースとリアアクスルケースとの間をメインフレームにて連結し中央部に駆動・制御ユニットを配置し、該制御装置にて位置・角度・方向の演算を行い、左右の車輪のキャンバ角を変更して重心移動を行い操向補正を行うべく構成したものである。</p>		
出願人	ヤンマーグループ		
ファミリー 公報番号	JP2991533B2,JPH053704A		

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第4位

出願番号	特願平8-125296	特許番号	なし
発明の名称	コンバイン		
要約	<p>【要約】 【課題】 刈高制御用の超音波センサーを利用してネズミ避けしながら格納できるようにする。【解決手段】 刈取装置の対地高さを検出する超音波センサー11に刈高補助回路13を介して関係している刈高制御手段14が、駆動装置15に信号を出力して電磁バルブVを切り換え操作させ、超音波センサー11による検出高さが刈高設定器17による設定刈高さになるように刈取装置昇降用のリフトシリンダ7を制御する。刈高補助回路13の受信回路13bと信号処理回路13c、駆動装置15の電源スイッチ20を切り、刈高制御手段14による刈高制御を停止させても、刈高補助回路13の発信回路13aの電源回路22、23は入りのままになり、超音波センサー11は超音波を発信したままになる。</p>		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JPH09308350A		

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第5位

出願番号	特願平9-128770	特許番号	特許第3655430号
発明の名称	作物収穫機及び作物処理設備、並びに、それらを用いた作物処理システム及び作物処理方法		
要約	<p>【要約】【課題】 収穫後の後処理等を効率よく行えるようにしたり、作物の状態を正確に判別できるようにすること等が可能になる作物収穫機を提供する。【解決手段】 作物を収穫する作物収穫機において、作物が収穫された後に機外にて後処理されるとき調整用情報として、前記作物の状態を計測する作物状態計測手段 S K が備えられ、その作物状態計測手段 S K にて計測された前記作物の状態の計測情報を出力可能な情報出力手段 J S が備えられる。</p>		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JP3655430B2,JPH10313638A		

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第6位

出願番号	特願平10-100557	特許番号	特許第3643945号
発明の名称	情報端末装置、農作業機、及び記録媒体		
要約	<p>【要約】 【課題】 現実近似した条件データを与えることにより、ユーザが予め育成結果が予測された育成手順を示す作業ガイダンス情報に従いながら、実際の稲を育成することが可能な生物育成ゲーム機能付きの情報端末装置、この装置を備えた農作業機、通信システム、及び情報端末装置が読み取り可能な記録媒体を提供することを目的とする。【解決手段】 稲R、R、…を育成する作業ガイダンス情報を記憶し、トラクタ100の速度、位置、耕うん作業をしているか否か等の状態を示す情報を取得し、取得結果に基づいてトラクタ100の動作履歴を記憶部10に記憶し、取得したトラクタ100の状態を示す情報に基づいて、その状態を仮想計器盤104bに表示するとともに、動作履歴に基づいて、記憶部10に記憶された作業ガイダンス情報の中から該当する何れかを表示し、トラクタ100に着脱自在な可能な構成とする。</p>		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JP3643945B2,JPH11275914A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第7位

出願番号	特願平8-138625	特許番号	なし
発明の名称	牧畜健康管理システム		
要約	【要約】 【課題】 牧畜毎のきめの細かい健康管理が容易に行える牧畜健康管理システムを提供する。【解決手段】 牧畜に装着し牧畜の生体情報を検出する牧畜測定ユニットUMと、牧畜測定ユニットUMから牧畜の生体情報を取り込む牧畜観測ユニットU1を有してなり、牧畜測定ユニットUMでは、牧畜観測ユニットU1からの測定指示信号及び測定データ返送指示信号により生体情報の測定と測定した生体情報の牧畜観測ユニットU1への送出手続きを行い、生体情報に基づいて牧畜の健康管理を行うようにした牧畜健康管理システムにおいて、牧畜観測ユニットU1からの測定指示信号に、牧畜毎に特有の測定指示内容を含めるようにした。		
出願人	パナソニックグループ		
ファミリー 公報番号	JPH09313065A		

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第8位

出願番号	特願平9-213013	特許番号	なし
発明の名称	作物の情報管理システム		
要約	【要約】 【課題】 複数の圃場や複数の生産者等の互いに異なる生産状況での作物の品質情報を総合的に管理して、営農管理や作物の生産管理等に有効活用することができるようにする。【解決手段】 作物収穫機K Oに、作物の収穫に伴って作物の品質を計測する作物品質計測手段S Kと、それにより計測された品質の計測情報を機外に出力可能な情報出力手段J Sとが備えられ、情報出力手段J Sから出力される複数の収穫場所の各々に対応する品質の計測情報を収集する計測情報収集手段1 0 0と、収集された収集情報に基づいて、複数の収穫場所に対応する作物の地域毎の品質マップを出力する品質マップ作成手段1 0 1と、各生産者毎の作物の生産管理用情報を求めて出力する生産管理情報作成手段1 0 2とを備える。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JPH1153674A		

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第9位

出願番号	特願平4-157123	特許番号	なし
発明の名称	芝刈作業車の走行制御装置		
要約	<p>【要約】 【目的】 芝有無検出手段の移動が異常になった場合に、芝有無検出手段の破損防止とともに作業を続行して作業能率の確保を図る。【構成】 芝有無検出手段22と、芝有無検出手段22を車体横幅方向に沿って繰返し往復移動操作する操作手段23と、芝有無検出手段22の車体横幅方向での移動位置を検出する位置検出手段Gと、芝有無検出手段22及び位置検出手段Gの情報に基づいて、位置検出手段Gの検出値が予め設定された複数の設定値になる毎に芝有無検出手段22によって検出される芝有無情報に基づいて未処理作業地Aと処理済作業地Bとの境界Lを判別する境界検出手段100と、境界検出手段100によって検出された境界Lに沿って走行させるように操向制御する制御手段101とが設けられ、芝有無検出手段22の移動の異常を判別して作動する安全手段Zが設けられている。</p>		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JPH064129A		

I -2 重要出願上位10件の詳細情報 重要度第10位

出願番号	特願平9-98963	特許番号	なし
発明の名称	作物管理装置		
要約	【要約】 【課題】 育成環境データを遠隔操作で収集して作物の生育状況の観察を実行し、作物にとって最適な灌水制御を管理者側からの遠隔操作に依り実行する。【解決手段】 通信回線12を介して送信される給水命令20aに応じて給水制御を実行し又データ収集命令20bに応じて育成環境データ10aを収集して管理者側に返信するコントローラ10と、コントローラ10から返信されてきた育成環境データ10aを解析して解析の結果に基づいて給水命令20aを通信回線12を介してコントローラ10に送信する管理者側の端末20を設ける。		
出願人	矢崎総業		
ファミリー 公報番号	JPH10286032A		

Ⅱ 類似出願

抽出条件：

- ①対象概念と概念一致の強さが高いこと
対象概念を「表現のゆれを考慮した検索語群（同義語・言い換え・略語・英語表記）」として定義し、当該語群と一致が強いもの
- ②文脈一致（関連語セット・近接）が成立していること
関連語が“セット”として同一文内／一定範囲内に共起しているもの
- ③ノイズ要因が少ないこと
一般用語・汎用表現・別概念を示す除外語に該当しないもの、または除外語があっても概念一致が強く優先されるもの

上記3点を組み合わせたスコアにより、「類似出願候補」上位100件を抽出

探索対象範囲：

- ①発明の効果
- ②発明が解決しようとする課題（①がない場合）
- ③要約（①と②がない場合）

Ⅱ-1 探索をする概念と類似出願の傾向

探索する概念

ドローン等を使って、作物の生育状況を効率よく把握できる技術

■ 類似出願上位100件の傾向

ドローンや撮影装置で圃場・作物を計測し、生育状況の把握、施肥・防除の最適化、収穫時期や作業判断の支援につなげる出願が中心です。画像処理、センシング、農業管理システムを組み合わせたものが多く、単なる飛行体よりも取得データをどう栽培管理に使うかに意識があるものが多くあります。出願人は井関農機、クボタ、ナイルワークスが目立ち、農機メーカーが多く占める一方、トプコン、オムロン、コニカミノルタ、ソニーなど計測・電子系企業も入っており、農業機械とセンシング技術の融合領域として広がっている状況です。

類似出願No.1	類似出願No.2	類似出願No.3	類似出願No.4	類似出願No.5
特願2016-185350【発明の名称】農業管理予測システム、農業管理予測方法、及びサーバ装置【出願人】ドローンジャパン	特願2018-38205【発明の名称】農業管理予測システム、農業管理予測方法、及びサーバ装置【出願人】ドローンジャパン	特願2020-532380【発明の名称】圃場撮影用カメラ【出願人】ナイルワークス	特願2018-123393【発明の名称】自動制御コンバイン【出願人】井関農機	特願2022-71338【発明の名称】ドローンの計測飛行方法【出願人】村上直之
類似出願No.6	類似出願No.7	類似出願No.8	類似出願No.9	類似出願No.10
特願2017-3705【発明の名称】ドローンを使用した肥料散布方法【出願人】東光鉄工	特願2019-124763【発明の名称】情報処理装置、情報処理方法、プログラム、センシングシステム【出願人】ソニーグループ	特願2019-570163【発明の名称】圃場作物撮影方法および撮影用ドローン【出願人】ナイルワークス	特願2019-505903【発明の名称】作物撮影用ドローン【出願人】ナイルワークス	特願2020-219874【発明の名称】農業支援システム【出願人】クボタ

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

1	特願2016-185350 【発明の名称】農業管理予測システム、農業管理予測方法、及びサーバ装置 【出願人】ドローンジャパン 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や収穫時期を推定・把握して農業管理に活用する点が類似する。	6	特願2017-3705 【発明の名称】ドローンを使用した肥料散布方法 【出願人】東光鉄工 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、状態把握に役立つ情報を得て農業上の判断に活用する点が類似する。
2	特願2018-38205 【発明の名称】農業管理予測システム、農業管理予測方法、及びサーバ装置 【出願人】ドローンジャパン 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や収穫時期を推定・把握して農業管理に活用する点が類似する。	7	特願2019-124763 【発明の名称】情報処理装置、情報処理方法、プログラム、センシングシステム 【出願人】ソニーグループ 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、状態把握に役立つ情報を得て農業上の判断に活用する点が類似する。
3	特願2020-532380 【発明の名称】圃場撮影用カメラ 【出願人】ナイルワークス 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や生育量を把握して栽培管理に活用する点が類似する。	8	特願2019-570163 【発明の名称】圃場作物撮影方法および撮影用ドローン 【出願人】ナイルワークス 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、状態把握に役立つ情報を得て農業上の判断に活用する点が類似する。
4	特願2018-123393 【発明の名称】自動制御コンバイン 【出願人】井関農機 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や収穫時期を推定・把握して農業管理に活用する点が類似する。	9	特願2019-505903 【発明の名称】作物撮影用ドローン 【出願人】ナイルワークス 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や収穫時期を推定・把握して農業管理に活用する点が類似する。
5	特願2022-71338 【発明の名称】ドローンの計測飛行方法 【出願人】村上直之 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や生育量を把握して栽培管理に活用する点が類似する。	10	特願2020-219874 【発明の名称】農業支援システム 【出願人】クボタ 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、状態把握に役立つ情報を得て農業上の判断に活用する点が類似する。

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

11	特願2016-3639 【発明の名称】植物情報取得システム、植物情報取得装置、植物情報取得方法、作物管理システムおよび作物管理方法 【出願人】マクセルHD 【類似点】圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。	16	特願2022-86862 【発明の名称】圃場制御システム 【出願人】フルタ電機 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。
12	特願2019-190703 【発明の名称】植物情報取得システム、植物情報取得装置、植物情報取得方法、作物管理システムおよび作物管理方法 【出願人】マクセルHD 【類似点】圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。	17	特願2024-119946 【発明の名称】システム 【出願人】ソフトバンクグループ 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。
13	特願2020-166744 【発明の名称】植物情報取得システム、植物情報取得装置、植物情報取得方法、作物管理システムおよび作物管理方法 【出願人】マクセルHD 【類似点】圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。	18	特願平9-350509 【発明の名称】水稻の生育監視装置 【出願人】農業食品産業技術総合研究機構 日立製作所 【類似点】圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。
14	特願2003-374388 【発明の名称】植物管理システム 【出願人】荏原製作所 【類似点】圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。	19	特願2018-31483 【発明の名称】色指標値算出システムおよび色指標値算出方法 【出願人】マクセルHD 【類似点】圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。
15	特願2020-219876 【発明の名称】農業支援システム 【出願人】クボタ 【類似点】ドローン等の無人航空機で対象の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。	20	特願2017-63062 【発明の名称】農作業支援システム 【出願人】井関農機 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

21	特願2019-238401 【発明の名称】農作業支援システム 【出願人】井関農機 【類似点】ドローン等の無人航空機で圃場や農作物の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。	26	特願2018-81637 【発明の名称】栽培支援方法、栽培支援プログラム、栽培支援装置、および栽培支援システム 【出願人】キッセイコムテック 信州大学 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
22	特願2005-319528 【発明の名称】植物生育情報処理システム 【出願人】木村応用工芸 【類似点】圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。	27	特願2000-377551 【発明の名称】遠隔地農業支援システム 【出願人】エステック 中里保彦 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
23	特願2003-393122 【発明の名称】農作物需給管理システム、加工食品受発注システム及び農業支援システム 【出願人】前川製作所 【類似点】圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。	28	特願2003-154427 【発明の名称】作物可変施肥のための生育量計測装置 【出願人】農業食品産業技術総合研究機構 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
24	特願2023-401 【発明の名称】生育状態モニタリング装置、生育状態モニタリング方法、コンピュータシステム、栽培植物管理システムおよび栽培植物管理プログラム 【出願人】東京科学大学 愛媛大学 【類似点】圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。	29	特願2020-515468 【発明の名称】情報処理装置 【出願人】NTTドコモ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
25	特願2015-87672 【発明の名称】植物の生育状態診断装置及び生育状態診断方法 【出願人】TDK 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	30	特願2015-173062 【発明の名称】農作物育成支援装置、及びそのプログラム 【出願人】京都府 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

31	特願2022-200003 【発明の名称】栽培支援装置、栽培支援方法及びプログラム 【出願人】オムロングループ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	36	特願2019-211097 【発明の名称】営農支援システム、営農支援方法、及びコンピュータプログラム 【出願人】ナイルワークス 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
32	特願2015-177055 【発明の名称】生育診断方法、生育診断装置、データ測定装置、生育診断プログラム、生育補助方法、生育補助装置及び生育補助プログラム 【出願人】埼玉大学 シンフォディアフィル 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	37	特願2022-62036 【発明の名称】農作物生育状態推定装置及び農作物生育状態推定方法 【出願人】オムロングループ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
33	特願2006-209292 【発明の名称】植物栽培管理装置とそのシステム、方法、及びプログラム 【出願人】ガーデン二賀地 ジーニアスノート 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	38	特願2018-138665 【発明の名称】生育情報表示システム 【出願人】ヤンマーグループ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
34	特願2022-62033 【発明の名称】生育状態改善支援装置、生育状態改善支援方法及び生育状態改善支援プログラム 【出願人】オムロングループ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	39	特願2017-250874 【発明の名称】植物栽培システム及び植物栽培方法 【出願人】安川電機 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
35	特願2019-84023 【発明の名称】農業支援装置及び農業支援プログラム 【出願人】パスコ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	40	特願2023-55224 【発明の名称】管理装置システム 【出願人】国際電気通信基礎技術研究所 茂広組 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

41	特願2018-49513 【発明の名称】センシングシステム、センシング方法、および非一時的コンピューター可読媒体 【出願人】 ミツミ電機 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	46	特願2017-35298 【発明の名称】 散布システム 【出願人】 井関農機 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
42	特願2003-305785 【発明の名称】 農作物の販売管理システム 【出願人】 沖縄みどり産業 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	47	特願2023-135825 【発明の名称】 作業車両 【出願人】 井関農機 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
43	特願平9-98963 【発明の名称】 作物管理装置 【出願人】 矢崎総業 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	48	特願2019-14117 【発明の名称】 生育情報管理システム、生育情報管理システムの制御方法及び生育情報管理システムの制御プログラム 【出願人】 トプコン 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
44	特願平9-285492 【発明の名称】 操作自在な無人低速飛翔体 【出願人】 コマツグループ 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	49	特願2019-44730 【発明の名称】 作物の倒伏リスク診断に用いる生育パラメータの測定推奨スポット提示方法、倒伏リスク診断方法、および情報提供装置 【出願人】 コニカミノルタグループ 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
45	特願2011-215361 【発明の名称】 圃場情報生成システム 【出願人】 クボタ 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	50	特願2000-354108 【発明の名称】 植物生育管理システム 【出願人】 トダバイオシステム 【類似点】 圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

51	特願2003-30149 【発明の名称】植物の栽培装置及び植物の栽培方法【出願人】北岡組【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	56	特願2018-145894 【発明の名称】収穫作業システム【出願人】井関農機【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
52	特願2015-214690 【発明の名称】作業車両の燃料供給システム【出願人】井関農機【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	57	特願2020-503577 【発明の名称】ドローン、その制御方法、および、プログラム【出願人】NTTE-DRONETECHNOLOGY【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
53	特願2016-107778 【発明の名称】水位管理システム【出願人】笑農和【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	58	特願2020-503578 【発明の名称】ドローン、操作機、ドローンの制御方法、操作機の制御方法、および、ドローン制御プログラム【出願人】NTTE-DRONETECHNOLOGY【類似点】対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
54	特願2018-508193 【発明の名称】無人航空機の地形追従飛行のための方法、装置および無人航空機【出願人】コアンチョウエックスエアクラフトテクノロジー【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	59	特願2020-69507 【発明の名称】ドローン、ドローンの制御方法、および、ドローン制御プログラム【出願人】NTTE-DRONETECHNOLOGY【類似点】対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
55	特願2019-542910 【発明の名称】航空機【出願人】ヤマハ発動機【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	60	特願2021-574384 【発明の名称】農作物育成システム【出願人】ナイルワークス【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

61	特願2020-219871 【発明の名称】農業機械 【出願人】クボタ 【類似点】対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	66	特願2022-203229 【発明の名称】無人飛行体システム 【出願人】農業食品産業技術総合研究機構 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
62	特願2020-219872 【発明の名称】農業支援システム 【出願人】クボタ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	67	特願2024-567026 【発明の名称】無人航空機および無人航空機の制御方法 【出願人】クボタ 【類似点】対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
63	特願2022-554715 【発明の名称】無人航空機 【出願人】バイエル 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	68	特願2020-501927 【発明の名称】栽培システム、管理サーバ及び栽培方法 【出願人】ヤンマーグループ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
64	特願2021-126758 【発明の名称】田畑植物の表現型情報収集システム 【出願人】浙江大学 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	69	特願平10-339788 【発明の名称】無人ヘリコプタ 【出願人】三菱マヒンドラ農機 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
65	特願2023-542327 【発明の名称】農業支援システム 【出願人】クボタ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	70	特願2021-204806 【発明の名称】推定装置、推定方法および推定プログラム 【出願人】コニカミノルタグループ 大阪 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

71	特願2024-525967 【発明の名称】マルチホップネットワークを利用したスマートファームの統合管理システム 【出願人】ミドバル 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	76	特願2022-531241 【発明の名称】作物の生育管理装置及び生育管理方法 【出願人】ナイルワークス 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
72	特願2003-333527 【発明の名称】農業情報配信システム 【出願人】エスイーシー アグリウエザー 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	77	特願2019-62697 【発明の名称】圃場情報管理システム、圃場情報管理システムの制御方法及び圃場情報管理システムの制御プログラム 【出願人】トプコン 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
73	特願2017-168580 【発明の名称】作物栽培支援装置 【出願人】コニカミノルタグループ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	78	特願2016-537750 【発明の名称】生育状態推定装置、植物生育観測システム、生育状態推定方法、生育指標推定方法およびプログラム 【出願人】NECグループ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
74	特願2022-74326 【発明の名称】作物栽培支援装置 【出願人】コニカミノルタグループ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	79	特願2018-143262 【発明の名称】農業耕作システム及び農業用ドローンの操作方法 【出願人】トプコンポジションニングシステムズインク 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
75	特願2019-68649 【発明の名称】圃場情報管理装置、圃場情報管理システム、圃場情報管理装置の制御方法及び圃場情報管理プログラム 【出願人】トプコン 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	80	特願平11-258137 【発明の名称】植物栽培用倉庫システムおよび植物栽培管理方法 【出願人】三菱ロジスネクスト 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

81	特願2015-135666 【発明の名称】作物管理システムおよび作物管理方法 【出願人】マクセルHD 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	86	特願2006-316564 【発明の名称】植物栽培システム 【出願人】アニックスプランツワークス 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
82	特願2015-86811 【発明の名称】作業車両 【出願人】石川県 井関農機 トプコン 初田工業 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	87	特願2017-214208 【発明の名称】ドローン飛行安定装置及びレーザーゲイジ 【出願人】湯田哲 【類似点】対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
83	特願2019-192087 【発明の名称】作業車両 【出願人】石川県 井関農機 トプコン 初田工業 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	88	特願2025-500462 【発明の名称】下限高度変更システムおよび無人航空機 【出願人】クボタ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
84	特願2018-161200 【発明の名称】植物生育装置、植物生育プログラム、および植物生育方法 【出願人】パナソニックグループ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	89	特願2000-294759 【発明の名称】植物栽培補助システムおよび記録媒体 【出願人】カシオ計算機 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
85	特願2005-109268 【発明の名称】植物運搬装置及び植物運搬方法 【出願人】浜松ホトニクス 光産業創成大学院大学 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	90	特願2017-10685 【発明の名称】作業車 【出願人】クボタ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。

Ⅱ-2 類似出願 第1位～100位までの一覧

91	特願2003-313347 【発明の名称】養液栽培システム 【出願人】渡辺パイプ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	96	特願2017-171287 【発明の名称】施肥を行う装置、施肥を行う方法およびプログラム 【出願人】トプコン 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
92	特願2001-102258 【発明の名称】栽培支援システム及び養液栽培システム 【出願人】渡辺パイプ 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	97	特願2019-55745 【発明の名称】全球測位衛星システム受信機搭載の対空標識 【出願人】農業食品産業技術総合研究機構 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
93	特願2019-105490 【発明の名称】精密農業支援システムおよび精密農業支援方法 【出願人】野崎眞次 サラニアサット 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	98	特願2010-57609 【発明の名称】農作物モニタリング方法、農作物モニタリングシステム及び農作物モニタリング装置 【出願人】日本総合研究所 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
94	特願2023-87908 【発明の名称】作業機管理システム 【出願人】井関農機 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	99	特願2023-29688 【発明の名称】作業車両 【出願人】井関農機 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。
95	特願2002-166850 【発明の名称】植物育成装置およびその制御システム 【出願人】シーシーエス 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。	100	特願2019-190900 【発明の名称】農地の土壌状態を予測するモノのインターネットシステム及びモデリング方法 【出願人】国立陽明交通大学 【類似点】圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第1位

出願番号	特願2016-185350	特許番号	なし
発明の名称	農業管理予測システム、農業管理予測方法、及びサーバ装置		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】ドローン等の無人航空機でのセンシングにより得られたデータに基づいて、農地等の管理並びに農作物の生育予測、収穫予測等を自動的に行い、農地並びに農作物等の適正な管理を実現する農業管理予測システムを提供する。【解決手段】無人航空機と、管理端末と通信自在なサーバ装置1において、管理端末から送られてきた画像データを受信する通信部12と、画像データに基づいて植生指数化を行う植生指数化部11bと、指数情報の標準偏差化を行う標準偏差化部11cと、標準偏差を意味化する意味化部11dとを備え、管理端末により無人航空機の航路及び撮影を遠隔制御し、無人航空機で得られた画像データに基づいてサーバ装置側で農業の管理予測を行う。【選択図】図2</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や収穫時期を推定・把握して農業管理に活用する点が類似する。		
出願人	ドローンジャパン		
ファミリー 公報番号	JP2018046787A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第2位

出願番号	特願2018-38205	特許番号	なし
発明の名称	農業管理予測システム、農業管理予測方法、及びサーバ装置		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 ドローン等の無人航空機でのセンシングにより得られたデータに基づいて、農地等の管理並びに農作物の生育予測、収穫予測等を自動的に行い、農地並びに農作物等の適正な管理を実現する農業管理予測システムを提供する。【解決手段】 本発明は、無人航空機と、管理端末と通信自在なサーバ装置1において、管理端末から送られてきた画像データを受信する通信部12と、画像データに基づいて植生指数化を行う植生指数化部11bと、指数情報の標準偏差化を行う標準偏差化部11cと、標準偏差を意味化する意味化部11dとを備え、管理端末により無人航空機の航路及び撮影を遠隔制御し、無人航空機で得られた画像データに基づいてサーバ装置側で農業の管理予測を行う。特に、対象圃場の植生指数化に係るデータと他圃場の植生指数化に係るデータとを比較し、比較結果を可視化するデータを前記情報端末に送信する。【選択図】 図2</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や収穫時期を推定・把握して農業管理に活用する点が類似する。		
出願人	ドローンジャパン		
ファミリー 公報番号	JP2019153109A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第3位

出願番号	特願2020-532380	特許番号	特許第6973829号
発明の名称	圃場撮影用カメラ		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 無人飛行体による生育状況の分析のための圃場の撮影に適したカメラを提供する。【解決策】 レンズとビームスプリッターと二対のバンドパスフィルターとイメージセンサーを含み、レンズを通った光束がビームスプリッターにより二つの光束と第二の光束に分割され、それぞれのバンドパスフィルターを介してイメージセンサーに到達する構造のカメラを提供する。さらに、無人飛行体に反射光キャリブレーション用の部材を設け、常にカメラの画角内に入るようにすることで、外界の状況に影響されずに正確な反射光の測定を可能とする。【選択図】 図7</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や生育量を把握して栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	ナイルワークス		
ファミリー 公報番号	JP6973829B2,JPWO2020022259A1,WO2020022259A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第4位

出願番号	特願2018-123393	特許番号	なし
発明の名称	自動制御コンバイン		
要約	<p>(57)【要約】【課題】本発明は、自律走行コンバインにおいて、複数の圃場を効率よく移動して収穫作業を行えるようにすることを課題とする。【解決手段】走行制御装置1と刈取制御装置2と脱穀制御装置3と作業機制御装置4と本機制御装置5を有し、各制御装置1, 2, 3, 4, 5を統合して制御するロボット制御装置6を設けた自動制御コンバイン7において、ロボット制御装置6に設けた遠隔通信ユニット60で圃場管理サーバ89のネットワーク90にアクセスして圃場の作物生育状況データを入手して自律走行コンバイン7のディスプレイ8に表示する自動制御コンバインとする。【選択図】図6</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や収穫時期を推定・把握して農業管理に活用する点が類似する。		
出願人	井関農機		
ファミリー 公報番号	JP2020000116A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第5位

出願番号	特願2022-71338	特許番号	特許第7575854号
発明の名称	ドローンの計測飛行方法		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】飛行するドローンとの距離及び方向を自動的に計測する方法を提供する。【解決手段】ドローンから地上との飛行位置の距離及び方向を継続的に計測して、計測した地上との距離及び方向の数値に従って継続的に飛行する。又は、地上から、ドローンの飛行位置の距離及び方向を計測して、計測した数値を飛行するドローンに送り、計測した地上との距離及び方向の数値に従って継続的に追尾飛行する。上空を飛行するドローンの飛行位置を、自動的に計測し、計測した位置に自動的に飛行させることができる。</p> <p>【選択図】図5</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や生育量を把握して栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	村上直之		
ファミリー 公報番号	JP7575854B2,JP2023161160A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第6位

出願番号	特願2017-3705	特許番号	特許第6906959号
発明の名称	ドローンを使用した肥料散布方法		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】本発明は、農薬などの薬剤を所定の散布領域内にムラなく一様に、且つ効率的に散布することができるドローンを使用した農薬散布方法を提供する。</p> <p>【解決手段】農地空撮用ドローンを使用して撮影した近赤外線画像より散布区画幅の行列を作成し、更に散布区画幅毎に平均化して画像を得、この画像を基にNDVIにより画像の散布計画画面を得、最も効果的な追肥時期を予測した上で、散布量の計算を行い、ドローンの飛行高度から決定される散布幅により必要な散布区画幅毎の散布量、散布パターンA～E、散布速度を決定し、農薬散布用ドローンを用いて自動で散布し、タンパク質含有量の平準化を行う。【選択図】図5</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、状態把握に役立つ情報を得て農業上の判断に活用する点が類似する。		
出願人	東光鉄工		
ファミリー 公報番号	JP6906959B2,JP2018111429A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第7位

出願番号	特願2019-124763	特許番号	特許第7415347号
発明の名称	情報処理装置、情報処理方法、プログラム、センシングシステム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】高度なセンシングを容易に可能とする。【解決手段】マクロ計測分析演算部は、計測対象の第1の計測範囲について第1の空間分解能でセンシングを行うマクロ計測部からの検出データについて演算を行う。マイクロ計測分析演算部は、第1の計測範囲に含まれる第2の計測範囲に対して第1の空間分解能より高い分解能である第2の空間分解能でセンシングを行うマイクロ計測部からの検出データについて演算を行う。そして補完分析演算部は、マクロ計測分析演算部による演算結果とマイクロ計測分析演算部による演算結果とを用いた補完分析演算を行い、補完分析情報を生成する。【選択図】図6</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、状態把握に役立つ情報を得て農業上の判断に活用する点が類似する。		
出願人	ソニーグループ		
ファミリー 公報番号	CN114072843A,EP3994609A1,JP7415347B2,JP2021012432A,US2022254014A1,W O2021002279A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第8位

出願番号	特願2019-570163	特許番号	特許第6762629号
発明の名称	圃場作物撮影方法および撮影用ドローン		
要約	<p>(57)【要約】【課題】圃場の作物の株元、葉の側面、および、穂先を適切に撮影できるドローン（無人飛行体）を提供する。【解決策】ドローンの進行方向に向かって後方に向けられたカメラをドローン下部に設置し、ドローンの回転翼の下降気流によって一時的に倒された作物を撮影することで、株元、側面、および、穂先を適切に撮影可能とする高度と速度の撮影モードを備え、各モードの切り替えを可能とする。求める部位が撮影可能なように、カメラの方向、および、機体の飛行速度・高度を調整可能としてもよい。また、倒された作物の葉の曲率等に基づいて自動的に撮影モードの切り替えを可能にしてもよい。【選択図】図6</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、状態把握に役立つ情報を得て農業上の判断に活用する点が類似する。		
出願人	ナイルワークス		
ファミリー 公報番号	JP6762629B2,JPWO2020040063A1,WO2020040063A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第9位

出願番号	特願2019-505903	特許番号	特許第6868304号
発明の名称	作物撮影用ドローン		
要約	<p>(57)【要約】【課題】圃場の作物の株元部分、および、側面を適切に撮影できるドローン（無人飛行体）を提供する。【解決策】ドローンの進行方向に向かって後方であって、約60度の俯角の方向あを撮影可能なカメラをドローン下部に設置し、ドローンの回転翼の下降気流によって一時的に倒された作物を撮影することで、株元部分、および、側面を適切に撮影可能とする。カメラの俯角は飛行速度や風力・風向によって自動的に調整可能としてもよい。また、ドローンの方向転換時には常にカメラが一定方向に位置するよう機体全体を回転させることが好ましい。</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、生育状況や収穫時期を推定・把握して農業管理に活用する点が類似する。		
出願人	ナイルワークス		
ファミリー 公報番号	CN110418572A,JP6868304B2,JPWO2018168565A1,US11319067B2,US2021316857A1,WO2018168565A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第10位

出願番号	特願2020-219874	特許番号	特許第7490553号
発明の名称	農業支援システム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】無人飛行体が圃場をセンシングしたときの圃場の状態によって作業装置による作業が行われるため、圃場全体の作業性などを向上させることができるようにする。</p> <p>【解決手段】農業支援システムは、センシング装置を備えた無人飛行体と、圃場を走行可能で農業機械と、を備え、農業機械は、無人飛行体が圃場をセンシングしたときの当該圃場の状態に基づいて作業装置による作業を行う。【選択図】図1</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物を撮影・センシングし、状態把握に役立つ情報を得て農業上の判断に活用する点が類似する。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	AU2021414757A1,CN116709900A,EP4272525A1,JP7532246B2,JP2022104736A,JP2022104737A,JP7490553B2,JP2022104738A,JP7413250B2,JP2022104739A,US2023322423A1,US12420960B2,WO2022145410A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第11位

出願番号	特願2016-3639	特許番号	なし
発明の名称	植物情報取得システム、植物情報取得装置、植物情報取得方法、作物管理システムおよび作物管理方法		
要約	<p>(57)【要約】【課題】植物を撮像した画像データから植物の表面の色に基づく当該植物の情報を取得するようにしたことにより葉緑素計や分光分析装置に比べて低コストで植物の情報を取得可能となる。稲等の作物の生産において、作物を撮影した画像データから算出される換算葉色値等の観察されるデータに基づいて、肥料の量の決定等の施肥管理やその他の農作業を含む肥培管理を、ユーザ端末としてのスマートフォン等を介して支援する。そのための植物情報取得システム、植物情報取得装置、植物情報取得方法、作物管理システムおよび作物管理方法を提供する。【解決手段】スマホ1にカメラ30が接続されている。稲の葉をカメラ30で撮影することにより得られた画像データから換算葉色値を得ることができる。この換算葉色値を管理サーバ10に送信することにより、例えば、換算葉色値が基準より小さい場合に必要な施肥量の情報が施肥管理のための管理情報として得られる。【選択図】図9</p>		
類似点	圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	マクセルHD		
ファミリー 公報番号	JP2017125705A,JP6774544B2,JP2020016666A,JP2021006819A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第12位

出願番号	特願2019-190703	特許番号	特許第6774544号
発明の名称	植物情報取得システム、植物情報取得装置、植物情報取得方法、作物管理システムおよび作物管理方法		
要約	<p>(57)【要約】【課題】植物を撮像した画像データから植物の表面の色に基づく当該植物の情報を取得するようにしたことにより葉緑素計や分光分析装置に比べて低コストで植物の情報を取得可能となる。稲等の作物の生産において、作物を撮影した画像データから算出される換算葉色値等の観察されるデータに基づいて、肥料の量の決定等の施肥管理やその他の農作業を含む肥培管理を、ユーザ端末としてのスマートフォン等を介して支援する。そのための植物情報取得システム、植物情報取得装置、植物情報取得方法、作物管理システムおよび作物管理方法を提供する。【解決手段】スマホ1にカメラ30が接続されている。稲の葉をカメラ30で撮影することにより得られた画像データから換算葉色値を得ることができる。この換算葉色値を管理サーバ10に送信することにより、例えば、換算葉色値が基準より小さい場合に必要な施肥量の情報が施肥管理のための管理情報として得られる。【選択図】図9</p>		
類似点	圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	マクセルHD		
ファミリー 公報番号	JP2017125705A,JP6774544B2,JP2020016666A,JP2021006819A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第13位

出願番号	特願2020-166744	特許番号	なし
発明の名称	植物情報取得システム、植物情報取得装置、植物情報取得方法、作物管理システムおよび作物管理方法		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 植物を撮像した画像データから植物の表面の色に基づく当該植物の情報を取得するようにしたことにより葉緑素計や分光分析装置に比べて低コストで植物の情報を取得可能となる。稲等の作物の生産において、作物を撮影した画像データから算出される換算葉色値等の観察されるデータに基づいて、肥料の量の決定等の施肥管理やその他の農作業を含む肥培管理を、ユーザ端末としてのスマートフォン等を介して支援する。そのための植物情報取得システム、植物情報取得装置、植物情報取得方法、作物管理システムおよび作物管理方法を提供する。【解決手段】 スマホ1にカメラ30が接続されている。稲の葉をカメラ30で撮影することにより得られた画像データから換算葉色値を得ることができる。この換算葉色値を管理サーバ10に送信することにより、例えば、換算葉色値が基準より小さい場合に必要な施肥量の情報が施肥管理のための管理情報として得られる。【選択図】 図9</p>		
類似点	圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	マクセルHD		
ファミリー 公報番号	JP2017125705A,JP6774544B2,JP2020016666A,JP2021006819A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第14位

出願番号	特願2003-374388	特許番号	なし
発明の名称	植物管理システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 農業従事者が、簡単な手法で作物の生育に必要な情報を入手し、かつ収穫予想や異常を早期に把握できるようにする。【解決手段】 植物生育場所10には、植物の生育に影響を及ぼすデータを検知するセンサが配置され、得られたデータが植物管理センタ50に定期的に通信される。植物管理センタは、受け取ったデータ及び気象状態とに基づいて生育状況を予測し、該生育状況に基づいて、生育作業計画を作成して、植物生育管理者20及び生産関連企業40に配信する。また、気象情報と予測された生育状況とに基づいて収穫状況を予測して収穫作業計画を作成し、植物生育管理者、生産関連企業及び消費関連企業70に配信する。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	荏原製作所		
ファミリー 公報番号	JP2005137209A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第15位

出願番号	特願2020-219876	特許番号	特許第7413250号
発明の名称	農業支援システム		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】農業機械の自動走行時において無人飛行体のセンシング装置によってセンシングした結果で障害物検出装置は障害物を検出する検出エリアを変更するため、自動走行の障害物の検知をより向上させることができるようにする農業支援システムの提供。【解決手段】農業支援システムは、農業機械1に設けられ且つ障害物を検出する障害物検出装置45と、農業機械1に設けられ且つ障害物検出装置45が障害物を検出していない場合に当該農業機械1の自動走行を行い且つ障害物を検出した場合に自動走行を変更する走行制御部と、無人飛行体70に設けられ且つ農業機械1の自動走行時に当該農業機械1の進行方向の状況をセンシングするセンシング装置と、を備え、障害物検出装置45は、センシング装置でセンシングした結果に基づいて障害物を検出する検出エリアを変更する。 【選択図】図1</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で対象の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	AU2021414757A1,CN116709900A,EP4272525A1,JP7532246B2,JP2022104736A,JP2022104737A,JP7490553B2,JP2022104738A,JP7413250B2,JP2022104739A,US2023322423A1,US12420960B2,WO2022145410A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第16位

出願番号	特願2022-86862	特許番号	なし
発明の名称	圃場制御システム		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】飛行するドローンの登録義務化に向かっている状況に鑑み、ドローンには、各種センサ、及び／又は、撮影用カメラの機器を装備し、圃場を、農業分野で定められた要件に基づき飛行し、圃場の高度ごとの温度分布を計測し、この温度（気温）計測データを、前記圃場に設けられた中央制御盤に送信する構成とした圃場制御システム。【解決手段】中央制御盤に、防霜ファンの制御を図る計測データを取込み、この計測データと、個別の（各防霜ファンの）各制御盤の蓄積基準値とを演算処理し、例えば、各計測データ（逆転層の状況とか、風の向き、方向等の計測データ）を基準に、防霜ファンの稼働（運転）・停止（運転停止）・活用制御（防霜ファンの俯角、角度、回転数の制御）、及び／又は、防霜ファンの送風制御、或いは、必要により、グループ制御等の各種制御を図り、例えば、防霜効果、又は生育促進、花芽等の保護と生育促進を達成することである。【選択図】図1</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。		
出願人	フルタ電機		
ファミリー 公報番号	JP2023174162A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第17位

出願番号	特願2024-119946	特許番号	なし
発明の名称	システム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】実施形態に係るシステムは、農作物の生育状況を効率的に監視し、適切な農業スケジュールを管理することを目的とする。【解決手段】実施形態に係るシステムは、生育状況監視部と、スケジュール管理部と、知識提供部とを備える。生育状況監視部は、農作物の生育状況を監視する。スケジュール管理部は、生育状況監視部によって監視された生育状況に基づいて農業スケジュールを管理する。知識提供部は、スケジュール管理部によって管理されたスケジュールに基づいて農業に関する知識を提供する。【選択図】図1</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。		
出願人	ソフトバンクグループ		
ファミリー 公報番号	データなし		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第18位

出願番号	特願平9-350509	特許番号	なし
発明の名称	水稻の生育監視装置		
要約	<p>【要約】 【課題】 水稻の生育状況を遠隔地で監視する装置や、自動的に生育状況を推定する装置を用いることにより、水稻の育成における生産者の作業時間を削減することを目的とする。【解決手段】 水稻を撮影する撮影装置と、撮影装置の入力画像データを伝送する伝送装置と、伝送装置からの画像データを受信する受信装置と、画像データを表示する表示装置とからなる。さらに、撮影装置のシャッタースピード等を制御する撮影装置制御装置と、入力画像データを画像処理し水稻の生育状況を推定する処理装置を加えることにより、生育状況認識を自動化することができる。</p>		
類似点	圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	農業食品産業技術総合研究機構 日立製作所		
ファミリー 公報番号	JPH11178445A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第19位

出願番号	特願2018-31483	特許番号	なし
発明の名称	色指標値算出システムおよび色指標値算出方法		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 植物の色から生育状況に応じた色指標値を算出することにより、植物の栽培を補助する色指標値算出システムおよび色指標値算出方法を提供する。【解決手段】 色の値の変化の程度を示す色指標値を色の値から算出する色指標値算出情報を生成する算出情報生成部と、算出情報生成部で生成された色指標値算出情報を記憶する算出情報記憶部と、所定植物の所定部位の色の値を測定する色測定部と、色測定部で測定された色の値と、算出情報記憶部に記憶された色指標値算出情報とに基づいて色指標値を算出して出力する色指標値算出部とを備えるので、生育状態の指標となる色指標値を算出することができ、これにより生育状態を客観的に判断することができる。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	マクセルHD		
ファミリー 公報番号	JP2019146489A,WO2019163249A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第20位

出願番号	特願2017-63062	特許番号	特許第6648727号
発明の名称	農作業支援システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 農作業をより効率的に支援することのできる農作業支援システムを提供すること。【解決手段】 農作業支援システム(100)は、作業装置(2)と圃場を走行可能な走行車体(1)とを備える作業車両(10)と、作業車両(10)の位置を示す位置情報を取得する位置情報取得装置(120)と、個々に識別情報が付与された圃場(A, B, C)の場所を示す圃場地図情報に関連付けて、圃場関連情報、作業関連情報および位置情報を、圃場(A, B, C)毎の独立情報として記憶可能な情報処理装置(140)とを備える。 【選択図】 図2B</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。		
出願人	井関農機		
ファミリー 公報番号	CN108664544A,JP6648727B2,JP2018164423A,JP6911911B2,JP2020064663A,KR20180109690A,KR102850442B1,KR20240073839A,TWI765993B,TW201837756A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第21位

出願番号	特願2019-238401	特許番号	特許第6911911号
発明の名称	農作業支援システム		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】農作業をより効率的に支援することのできる農作業支援システムを提供する。【解決手段】農作業支援システムにおいて、作業装置2と圃場を走行可能な走行車体1とを備える作業車両10と、作業車両の位置を示す位置情報を取得する位置情報取得装置120と、個々に識別情報が付与された圃場A、B、Cの場所を示す圃場地図情報に関連付けて、圃場関連情報、作業関連情報および位置情報を、圃場A、B、C毎の独立情報として記憶可能な情報処理装置140とを備える。【選択図】図1</p>		
類似点	ドローン等の無人航空機で圃場や農作物の情報を取得し、状態把握や農業管理に役立てる点が類似する。		
出願人	井関農機		
ファミリー 公報番号	CN108664544A,JP6648727B2,JP2018164423A,JP6911911B2,JP2020064663A,KR20180109690A,KR102850442B1,KR20240073839A,TWI765993B,TW201837756A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第22位

出願番号	特願2005-319528	特許番号	特許第4012554号
発明の名称	植物生育情報処理システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】煩雑な操作を行うことなく被計測対象の植物に関する生育情報や生育診断等の詳細な情報を取得することができる植物生育情報処理システム、コンピュータ、植物生育情報処理方法、プログラム、および携帯型通信端末装置を提供する。【解決手段】コンピュータ3は、通信部と、画像に基づいて生育情報を生成する生育情報生成部と、識別情報に対応する携帯型通信端末装置に、生育情報生成部が生成した生育情報を通信部を介して送信して、携帯型通信端末装置2の表示部に生育情報を表示させる情報提供部を有する。携帯型通信端末装置2は、表示部25と、通信部と、フィルタと、被計測対象の植物の反射光をフィルタを介して撮影して画像を取得する撮影部21と、分光画像、識別情報を関連付けて通信部を介してコンピュータ3に送信し、コンピュータ3から受信した被計測対象の植物P1の生育情報や生育診断情報を表示部25に表示させる制御回路とを有する。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	木村応用工芸		
ファミリー 公報番号	JP4012554B2,JP2007124932A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第23位

出願番号	特願2003-393122	特許番号	なし
発明の名称	農作物需給管理システム、加工食品受発注システム及び農業支援システム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】 転作作物の需給バランスを保つことができるシステムを提供することにより遊休農地の安定活用を促進する。【解決手段】 農作物需給管理システムは、各農作物生産者の各農地において生産される農作物の種類、品種、作付け面積、過去の収穫実績及び各農地における輪作形態等の生産情報を記録した生産情報データベースと、食品製造業者等の各需要者が必要とする農作物の種類、品種、使用時期及び使用量等を記録した需要情報データベースを備え、最低生産量算出手段により前記生産情報に基づいてそれぞれの時期の各農地における各農作物の最低生産量の予測値を算出し、該予測値に基づいて、供給配分決定手段により需要者への農作物の供給配分を農作物の種類、品種、供給可能時期毎に決定する。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	前川製作所		
ファミリー 公報番号	JP2005151851A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第24位

出願番号	特願2023-401	特許番号	なし
発明の名称	生育状態モニタリング装置、生育状態モニタリング方法、コンピュータシステム、栽培植物管理システムおよび栽培植物管理プログラム		
要約	(57)【要約】【課題】青果物を始めとした植物体の成熟度、生育状態、糖酸度、収穫時期等を非接触かつ非破壊的に測定できる測定精度に優れた生育状態モニタリング装置、それを利用した、生育状態モニタリング方法、コンピュータシステム、栽培植物管理システムおよび栽培植物管理プログラムの提供。【解決手段】植物体1へ励起光を照射し、植物体1から発光する蛍光の画像を計測する蛍光画像センサ3を備え、植物体の一部位4から発光する第1の蛍光強度値と、前記植物体の前記一部位とは異なる部位5から発光する第2の蛍光強度値とを演算することを特徴とする生育状態モニタリング装置。ならびに、それを利用した、生育状態モニタリング方法、コンピュータシステム、栽培植物管理システムおよび栽培植物管理プログラム。【選択図】図1		
類似点	圃場や農作物を撮像・センシングして、生育状況の把握や栽培管理に活用する点が類似する。		
出願人	東京科学大学 愛媛大学		
ファミリー 公報番号	JP2024097135A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第25位

出願番号	特願2015-87672	特許番号	特許第6434855号
発明の名称	植物の生育状態診断装置及び生育状態診断方法		
要約	<p>(57)【要約】【課題】 植物の地下部の生育状態を、栽培培地中から地下部を取り出すことなく、地下部に損傷を与えずに診断する。【解決手段】 生育状態診断装置1は、マイクロ波20を送信する送信アンテナ22と、マイクロ波20を受信する受信アンテナ24と、送信アンテナ22と受信アンテナ24との間に根30が存在する土壌40が配置された状態で送信アンテナ22から送信され且つ受信アンテナ24により受信されたマイクロ波20の信号強度を対象信号強度として取得し、送信アンテナ22と受信アンテナ24との間に根30が存在しない土壌40が配置された状態で送信アンテナ22から送信され且つ受信アンテナ24により受信されたマイクロ波20の信号強度を基準信号強度として取得するネットワークアナライザ10と、対象信号強度と基準信号強度との差分を算出し、差分に基づき根30の大きさを取得する演算部11と、備える。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	TDK		
ファミリー 公報番号	JP6434855B2,JP2016202070A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第26位

出願番号	特願2018-81637	特許番号	なし
発明の名称	栽培支援方法、栽培支援プログラム、栽培支援装置、および栽培支援システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 果樹などの植物の生育状態を適切に評価して栽培に有用な情報を提供すること。【解決手段】 栽培支援システム1によって実施される栽培支援方法は、果実の生育状態を近似した生育曲線を用いて、栽培中の果実の生育状態を評価し、評価結果に基づき、栽培中の果実に関するアドバイスの提供などの栽培支援サービスを行うものである。従って、農家の利益に直結する果実の現在の生育状態を適切に把握して、有用な栽培支援サービスを行うことができる。生育曲線は、果実のサイズを目的変数とし、葉面積の積算値を説明変数として決定する。また、篤農家が行った果樹栽培における果実のサイズおよび葉面積の積算値に基づいて生育曲線を決定する。従って、気象などの環境条件によらない普遍的な生育曲線を得ることができ、篤農家と同じ生育状態に近づけるための栽培支援を行うことができる。</p> <p>【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	キッセイコムテック 信州大学		
ファミリー 公報番号	JP2019187259A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第27位

出願番号	特願2000-377551	特許番号	なし
発明の名称	遠隔地農業支援システム		
要約	<p>【要約】 【課題】 農作物の栽培を遠隔地にある自宅にてその生育状況をリアルタイムにて観察しながら行うことができ、しかも農作業に不慣れな者であっても農家の人等のアドバイスにより立派な農作物を収穫することが可能となる遠隔地農業支援システムを提供すること。</p> <p>【解決手段】 農作物が栽培される土地の近傍に該土地を撮影するカメラ及び該カメラにて撮影された画像データを送信可能な送受信装置を設置し、該送受信装置を通信回線を介して該土地から遠隔地にある端末装置と双方向通信可能に接続し、遠隔地に住む農作物栽培希望者が前記カメラにて撮影された画像データを該端末装置にて受信することにより前記土地における農作物の状態を確認できるように構成したことを特徴とする遠隔地農業支援システム。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	エステック 中里保彦		
ファミリー 公報番号	JP2002176855A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第28位

出願番号	特願2003-154427	特許番号	特許第3731056号
発明の名称	作物可変施肥のための生育量計測装置		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 フォーク状センサ、または圧覚センサによる計測値から圃場の局所的な作物生育指標を判定し、作物の生育量に応じた追肥作業を行う。【解決手段】 計測装置は、垂直方向に自由懸垂状態で取付けたフォーク状センサ2、または垂直方向に固定した板バネ状の圧覚センサ3を備え、センサ2、3を立毛状態の作物16に当てて進行させ、センサ2、3の回転または応力による変位を計測し、作物生育量を非破壊で計測する。フォーク状センサ2は、立毛状態の作物体16に接するバー9を一定間隔に取付けた。圧覚センサ3は、板バネ3aに歪みゲージ3bを貼付した。フォーク状センサ2、または圧覚センサ3は、移動機体から作物16側に張り出して装着される。フォーク状センサ2、または圧覚センサ3を装着した移動機体に、GPSやエンコーダなどの位置センサを設ける。移動機体に作物16の生育量に応じた追肥作業が行える施肥装置15を設ける。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	農業食品産業技術総合研究機構		
ファミリー 公報番号	JP3731056B2,JP2004350623A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第29位

出願番号	特願2020-515468	特許番号	特許第7299213号
発明の名称	情報処理装置		
要約	<p>(57)【要約】 作物を撮影する飛行体の飛行時間を短くしつつ、撮影された画像から得られる作物の生育状況を示す指標の精度を高めること。作物画像取得部(101)は、ドローン(20)が撮影した作物領域の画像を取得する。指標算出部(102)は、取得された作物領域の画像に基づいてその画像に写る作物の生育状況を表す指標を算出する。飛行指示部(105)は、算出された指標が所定の閾値未満となる部分(低指標領域)が作物領域に存在する場合、作物の画像の解像度を高くしてその低指標領域を撮影するようドローン(20)に指示する。具体的には、飛行指示部(105)は、低指標領域の指標が算出された画像の撮影がされたときよりも低空飛行をしながらその部分を撮影するよう指示する。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	NTTドコモ		
ファミリー 公報番号	JP7299213B2,JPWO2019208537A1,US11763441B2,US2021174080A1,WO2019208537A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第30位

出願番号	特願2015-173062	特許番号	特許第6295452号
発明の名称	農作物育成支援装置、及びそのプログラム		
要約	(57)【要約】（修正有り）【課題】スマートフォン等のモバイル端末を利用して、圃場において農作物の育成状況と施肥量を営農者が即座に把握することができる農作物育成支援のための装置とそのプログラムを提供する。【解決手段】スマートフォン2で撮影した圃場Fの農作物Rの画像を、その画像中で指定された複数株に対応する点の位置情報と共に農作物育成支援装置であるサーバ1に送信し、サーバ1において指定された点から解析領域を特定し、解析領域中の各画素から農作物Rの緑を強調した輝度値を算出すると共にヒストグラムを生成し、ヒストグラムの形状解析により二値化した画像から植被率、推定生育量、穂肥量を順次算出して、推定生育量と穂肥量をスマートフォン2に返信して育成支援情報として画面表示させるように構成したシステムを構築した。【選択図】図1		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	京都府		
ファミリー 公報番号	JP6295452B2,JP2017046639A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第31位

出願番号	特願2022-200003	特許番号	なし
発明の名称	栽培支援装置、栽培支援方法及びプログラム		
要約	(57)【要約】 【課題】 作物の生育状態及び作物に対する作業に関する情報の時系列データを共有化し、作物の生育状態と作物に対する作業との関係性を把握する。【解決手段】 作物の栽培を支援する栽培支援装置は、作物の生育状態に関する複数の生育情報の時系列データ、作物に対する作業に関する複数の作業情報の時系列データ、及び、作物の周囲の環境に関する複数の環境情報の時系列データを取得し、複数の生育情報、複数の作業情報及び複数の環境情報の因果関係を分析し、複数の生育情報の少なくとも一つと複数の作業情報の少なくとも一つとの間の関係性を示す関係性情報を作成し、複数の生育情報の時系列データ、複数の作業情報の時系列データ及び関係性情報を出力する。【選択図】 図1		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	オムロングループ		
ファミリー 公報番号	CN120344144A,EP4613089A1,JP2024085487A,WO2024128041A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第32位

出願番号	特願2015-177055	特許番号	特許第6609800号
発明の名称	生育診断方法、生育診断装置、データ測定装置、生育診断プログラム、生育補助方法、生育補助装置及び生育補助プログラム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】高価な装置を用いずに維管束植物の生育を診断する生育診断装置を提供する。【解決手段】維管束植物2 aの生育状態を示す内部情報のデータを測定する内部情報測定系(1 a, 1 b, 1 1)と、維管束植物2 aの生育状態に影響を与える環境因子の変動データを測定する環境因子測定系(1 2~1 5, 5 1 a)と、内部情報のデータと環境因子の変動データの相関係数を算出する演算制御装置3 0と、を備える。相関係数の値により、維管束植物2 aの生育状態を診断する。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	埼玉大学 シンフォディアフィル		
ファミリー 公報番号	JP6609800B2,JP2017051125A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第33位

出願番号	特願2006-209292	特許番号	なし
発明の名称	植物栽培管理装置とそのシステム、方法、及びプログラム		
要約	(57)【要約】（修正有り）【課題】ユーザが植物の栽培に積極的に関与することができ、しかも継続的に植物の栽培を促すようにしたビジネスに繋がる植物栽培管理装置とそのシステム、方法、及びプログラムを提供する。【解決手段】本発明は、サーバ10が、園芸農家より供給された種苗を示す栽培種苗情報をユーザ端末30から受信すると、育成日数のカウントを開始すると共に、育成日ごとに該当地域の気象情報を取得し、気象情報と栽培種苗情報とを関連付けて記憶する。次いで、サーバ10は、気象情報の取得に応じて育成日数及び気象情報に基づいて植物に与えられた気象実績を抽出すると共に、気象実績に基づいた植物の生育状態を予測する。そして、サーバ10は、予測した生育状態に応じて適切なメッセージをユーザ端末30へ送信するようにした。【選択図】図1		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	ガーデン二賀地 ジーニアスノート		
ファミリー 公報番号	JP2008029307A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第34位

出願番号	特願2022-62033	特許番号	なし
発明の名称	生育状態改善支援装置、生育状態改善支援方法及び生育状態改善支援プログラム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 農作物の生育状態を精度よく判定し適切な対処を可能とする。【解決手段】 農作物の生育状態を改善するための改善情報を記憶する改善情報記憶部と、現に栽培されている農作物である対象農作物に関する特徴量である対象農作物特徴量を取得する対象農作物特徴量取得部と、対象農作物特徴量を記憶する対象農作物特徴量記憶部と、対象農作物特徴量に基づいて、ベイジアンネットワークモデルにより、生育状態の確率を算出する確率算出部と、確率に応じて、生育状態を表示する生育状態表示画面を生成する画面生成部と、生育状態に応じた改善情報提供画面を生成する改善画面生成部と、表示部と、を備えた生育状態改善支援装置。【選択図】 図9</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	オムロングループ		
ファミリー 公報番号	JP2023152092A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第35位

出願番号	特願2019-84023	特許番号	特許第7211888号
発明の名称	農業支援装置及び農業支援プログラム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 様々な農作物を対象として生育状況を正確に把握することができる農業支援装置及び農業支援プログラムを提供する。【解決手段】 決定係数格納部10が、農作物の生育状況の指標に対して、説明変数として散乱データを使用した回帰式毎に求めた決定係数を回帰式とともに記憶部26に一覧表として記憶させ、対象農作物受付部12が受け付けた評価の対象農作物について、評価式抽出部14が、上記一覧表中で上記決定係数が対象農作物の生育状況を反映していると認められる値となった回帰式を生育状況評価式として抽出し、上記対象農作物の作付領域において、SARにより取得されたマイクロ波データから作付領域散乱データ取得部18が取得した、上記生育状況評価式が使用する散乱データを、評価データ取得部20が生育状況評価式に入力して評価データを出力させ、これに基づき、表示制御部22が上記作付領域上に対象農作物の生育状況を表示する。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	パスコ		
ファミリー 公報番号	JP7211888B2,JP2020180865A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第36位

出願番号	特願2019-211097	特許番号	なし
発明の名称	営農支援システム、営農支援方法、及びコンピュータプログラム		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】農作物の生育状況を適時に取得すると共にこれを消費者に提供し、収量予測に基づいた営農支援を行う営農支援システム、営農支援方法及びコンピュータプログラムを提供する。【解決手段】営農支援システム1は、所定の圃場で農産物を生産する生産者と、当該所定の圃場における農産物の収量予測及び又は品質予測に係る情報の提供を受ける消費者とを関連付ける参照情報記憶部13を有する。生育状況情報取得部15が、所定の圃場における農産物の生育状況情報を取得すると、収量品質予測生成部16は、生育状況情報に基づいて農産物の収量予測及び／又は品質予測を生成する。収量品質情報送信部18は、参照情報記憶部13を参照して、所定の圃場における農産物の収量予測及び／又は品質予測の提供を受ける消費者の利用する消費者端末3に対し、所定の圃場における農産物の収量予測及び／又は品質予測を含む収量品質情報を送信する。【選択図】図9</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	ナイルワークス		
ファミリー 公報番号	JP2021082173A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第37位

出願番号	特願2022-62036	特許番号	なし
発明の名称	農作物生育状態推定装置及び農作物生育状態推定方法		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 多種の特徴量に基づいて生育状態を精度よく判定する。【解決手段】 現に栽培されている農作物である対象農作物に関する特徴量である対象農作物特徴量を取得する対象農作物特徴量取得部と、前記対象農作物特徴量を記憶する対象農作物特徴量記憶部と、前記対象農作物特徴量に基づいて、ベイジアンネットワークモデルにより、前記生育状態の確率を算出する確率算出部と、算出された前記確率に応じて、推定された生育状態を表示する生育状態表示画面を生成する画面生成部と、表示部と、を備えたことを特徴とする農作物生育状態推定装置。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	オムロングループ		
ファミリー 公報番号	JP2023152095A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第38位

出願番号	特願2018-138665	特許番号	特許第7152212号
発明の名称	生育情報表示システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 圃場内のメッシュ毎の実際の作物の生育状況と、生育情報との比較が容易となる生育情報表示システムを提供する。【解決手段】 端末装置は、端末装置の位置情報を少なくとも含む圃場特定用情報をサーバに送信する。サーバは、端末装置から受信した圃場特定用情報に基づいて、端末装置によって撮像されている圃場を特定し、特定された圃場に対するメッシュ情報を端末装置に送信する。端末装置は、サーバから圃場に対するメッシュ情報を受信し、受信したメッシュ情報、端末装置の位置情報、姿勢情報および方位情報に基づいて撮像画像に含まれている圃場内のメッシュを特定し、特定された各メッシュに対して、対応する生育情報を重ねて表示する。【選択図】 図6</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	ヤンマーグループ		
ファミリー 公報番号	CN112424816A,JP7152212B2,JP2020017008A,KR102765484B1,KR20210035078A,WO2020021904A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第39位

出願番号	特願2017-250874	特許番号	特許第6731588号
発明の名称	植物栽培システム及び植物栽培方法		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 植物の生育状態の検出機能を向上する。【解決手段】 栽培対象の複数の植物2を搬送移動させつつ栽培する積層栽培棚5及び搬送ロボット6と、積層栽培棚5における植物2の搬送経路の途中位置に検出領域が配置され、検出領域を通過する植物2の個体ごとに生育状態を検出する寸法検出センサ9及び重量検出センサ10と、を有し、積層栽培棚5は上下方向に並んで配置された複数の栽培棚5aを有し、搬送ロボット6は複数の栽培棚5aの間で植物2を搬送し、寸法検出センサ9及び重量検出センサ10の検出領域は、搬送ロボット6上又は搬送ロボット6の搬送経路の途中位置に配置されている。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	安川電機		
ファミリー 公報番号	CN109997680A,CN109997680B,JP6731588B2,JP2019115293A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第40位

出願番号	特願2023-55224	特許番号	なし
発明の名称	管理装置システム		
要約	(57)【要約】 【課題】 栽培する作物の生育状態を管理するために必要なセンサー値および作物の画像データを低消費電力で作物の管理施設へ送信可能な管理システムを提供する。【解決手段】 管理システム10は、通信システム11, 12と太陽電池13と蓄電池14とを備える。通信システム12は、作物を栽培する栽培場に配置され、作物を撮影するとともに撮影した画像データを栽培場の管理施設へ無線通信によって送信する。通信システム11は、栽培場に配置され、作物の生育に関わるセンサー値を検出するとともに検出したセンサー値を通信システム12よりも省電力で栽培場の管理施設へ無線通信によって送信する。太陽電池13は、通信システム11, 12を駆動するための電力を発電し、蓄電池14を介して発電電力を通信システム11, 12に供給する。【選択図】 図2		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	国際電気通信基礎技術研究所 茂広組		
ファミリー 公報番号	JP2024142860A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第41位

出願番号	特願2018-49513	特許番号	特許第7152100号
発明の名称	センシングシステム、センシング方法、および非一時的コンピューター可読媒体		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 農作物の果実の生育度合いをセンシング可能なセンシングシステム、センシング方法、および非一時的コンピューター可読媒体を提供する。【解決手段】 センシングシステム1は、農作物100の茎102に取り付けられ、農作物100に振動を加えるための振動デバイス10と、農作物100の茎102に取り付けられ、振動デバイス10から農作物100に加えられた振動によって発生した農作物100の振動をセンシングし、農作物100の振動に関する振動情報を送信するための少なくとも1つのセンサー20と、少なくとも1つのセンサー20から受信した振動情報から得られる周波数スペクトルにおいて、複数の極大値のうち一の極大値を農作物100の振動の共振周波数として特定し、さらに、特定した共振周波数に基づいて、農作物100の果実101の生育度合いを判断する演算デバイス30とを含む。【選択図】 図2</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	三菱電機		
ファミリー 公報番号	CN111836537A,CN111836537B,EP3766335A1,EP3766335B1,JP7152100B2,JP2019154398A,US11543389B2,US2020408719A1,WO2019176882A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第42位

出願番号	特願2003-305785	特許番号	なし
発明の名称	農作物の販売管理システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 インターネットを用いた完全管理栽培を対象とした農作物の販売管理システムに関し、余剰生産による売れ残り等がなく、無駄なく安定した商品の生産、供給を実現することができ、また、消費者は生産者のことがわかり、肥料、農薬などの使用状況がわかることで安心して購入できる農作物の販売システムを提供することにある。【解決手段】 農作物の出荷状態を示す商品見本となる商品画像データと、農作物の播種日から出荷日までを表わす生産計画データとを表示するための表示手段と、表示された各商品に対して注文を受け付けるための受注手段と、農作物の生産状況画像データと育成環境測定データと生産者データ、肥料データ及び農薬データを取得するための観測手段と、観測データを記録し、蓄積するための観測データベースを備えたものである。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	沖縄みどり産業		
ファミリー 公報番号	JP2005078238A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第43位

出願番号	特願平9-98963	特許番号	なし
発明の名称	作物管理装置		
要約	【要約】 【課題】 育成環境データを遠隔操作で収集して作物の生育状況の観察を実行し、作物にとって最適な灌水制御を管理者側からの遠隔操作に依り実行する。【解決手段】 通信回線12を介して送信される給水命令20aに応じて給水制御を実行し又データ収集命令20bに応じて育成環境データ10aを収集して管理者側に返信するコントローラ10と、コントローラ10から返信されてきた育成環境データ10aを解析して解析の結果に基づいて給水命令20aを通信回線12を介してコントローラ10に送信する管理者側の端末20を設ける。		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	矢崎総業		
ファミリー 公報番号	JPH10286032A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第44位

出願番号	特願平9-285492	特許番号	なし
発明の名称	操作自在な無人低速飛行体		
要約	【要約】 【課題】 二重反転式の回転翼を有した飛行体の離陸時におけるダイナックロールオーバを防止する。また、各種飛行の制御を、簡易な構造で、容易に行う。【解決手段】 2つの水平回転翼25、26の下方に、これら2つの水平回転翼25、26の回転によって生ずる下降流を受ける投影面積が調整自在の面積調整手段33が、鉛直軸23に関して対向するように少なくとも2つ(33a、33c)設けられる。そして、対向する面積調整手段33a、33cの両面積が上昇時には同量ずつ減少され、下降時には同量ずつ増加されるよう面積調整手段33a、33cが制御される。これにより、飛行体20が昇降される(矢印E)。		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	コマツグループ		
ファミリー 公報番号	JPH11115896A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第45位

出願番号	特願2011-215361	特許番号	特許第5753051号
発明の名称	圃場情報生成システム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】地中で生育する作物の収穫に基づいて圃場の各部の土壌の状態を正確に取得するシステムを構成する。【解決手段】収穫機で収穫した人参Xをカメラ21で撮影し、この撮影により取得した撮影画像情報から人参Xの品質を品質判定ユニットJで判定して品質情報を生成し、この収穫時に位置情報取得ユニットKで位置情報を取得し、品質情報と位置情報とを関連付処理手段35により関連付けた圃場情報を生成する。【選択図】図8</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JP5753051B2,JP2013074807A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第46位

出願番号	特願2017-35298	特許番号	特許第6508232号
発明の名称	散布システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 散布作業車で散布した散布領域から外れた未散布領域を作業者に知らせ、その未散布領域に対する追加散布を適切に行えるようにすること。【解決手段】 複数の地上散布ノズル4を配設した散布ブーム5を車体1Bの左右に伸ばして散布作業を行う散布作業車1を利用した散布システムにおいて、前記散布ブーム5に設ける受信アンテナ50の位置をGPS衛星SG1、SG2からの位置情報で圃場地図上に散布移動軌跡を描き、運転席6近傍の表示・操作パネル11の表示部11Dに圃場地図と共に未散布領域SE0を識別表示することを特徴とする散布システムとする。【選択図】 図12</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	井関農機		
ファミリー 公報番号	JP6508232B2,JP2018139519A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第47位

出願番号	特願2023-135825	特許番号	なし
発明の名称	作業車両		
要約	<p>(57)【要約】【課題】植付ラインが乱れた場合に手動で修正をしていた従来構成に比べて、植付ラインの乱れを抑制すること。【解決手段】走行制御手段(308)が走行車体(4)を予め定められた経路に沿って走行させ、モード切替手段(306)が現在移植作業を行っている現在植付ライン(421)と、直前に移植作業を行っていた直近植付ライン(422)との交差角度(α)が、予め定められた値に達する場合には、移植作業優先モードに自動的に切り替えることで、植付ラインが乱れた場合に手動で修正をしていた従来構成に比べて、植付ラインの乱れを抑制することができる。【選択図】図4</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	井関農機		
ファミリー 公報番号	JP2025030484A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第48位

出願番号	特願2019-14117	特許番号	特許第7388816号
発明の名称	生育情報管理システム、生育情報管理システムの制御方法及び生育情報管理システムの制御プログラム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】配置される機器等の位置変化にもかかわらず植物等の生育状況を精度良く把握することができる生育情報管理装置等を提供すること。【解決手段】他の機器1に装着された状態で、植物Pに測定光を照射し、受光した反射光に基づいて、その生育情報を取得し、他の機器の位置変化に伴う測定光の照射方向の変化情報に基づいて、生育情報を補正する生育情報管理装置100。【選択図】図10</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	トプコン		
ファミリー 公報番号	AU2019427946A1,AU2019427946B2,CA3127302A1,EP3919381A1,JP7388816B2,JP2020120601A,US2022057375A1,WO2020158290A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第49位

出願番号	特願2019-44730	特許番号	特許第7081536号
発明の名称	作物の倒伏リスク診断に用いる生育パラメータの測定推奨スポット提示方法、倒伏リスク診断方法、および情報提供装置		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 生育パラメータの測定に適した領域の提示により、必要最小限の生育パラメータの測定をユーザに促し、実測値に基づいて倒伏リスク診断を正確に実施できるようにする。生育が安定した測定推奨スポットの提示により、倒伏リスク診断の精度を上げる。</p> <p>【解決手段】 圃場内で栽培される作物の倒伏リスク診断に用いる生育パラメータの測定推奨スポット提示方法は、圃場を上空から撮影して取得された圃場画像のデータに基づいて、作物の生育度を示す生育指標を、圃場画像の各画素ごとに求める生育指標算出工程と、各画素ごとの生育指標に基づいて、生育指標が標準の範囲内にある標準領域を複数特定する標準領域特定工程と、少なくとも複数の標準領域のそれぞれの面積に基づいて、複数の標準領域のいずれかを測定推奨スポットとして特定する測定推奨スポット特定工程と、特定した測定推奨スポットを示す情報を出力する情報出力工程とを含む。【選択図】 図5</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	コニカミノルタグループ		
ファミリー 公報番号	JP7081536B2,JP2020149201A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第50位

出願番号	特願2000-354108	特許番号	なし
発明の名称	植物生育管理システム		
要約	【要約】 【課題】 目的とする植物の生育経験のない素人であっても、容易に且つ迅速に、その植物の生育状況やその生長を促すための薬剤の施用量等を知り、植物の生長のために正しい対処を採ることが出来る植物の生育管理システムを提供すること。【解決手段】 植物の生育現場12において、植物の生理情報を検知する工程と、該植物が根付いている土壌の状態を検知する工程と、それら検知された植物生理データと土壌状態データとを、生育現場12から離れた管理センター18に対して送信せしめる工程と、該管理センター18において、受信されたデータに基づいて、当該植物の生育状況を診断し、必要な薬剤の施用量を決定する工程と、かかる決定された薬剤の施用量を、該管理センター18から植物生育現場12の施用者に対してフィードバックする工程とを含むようにして、植物生育管理システム10を構成した。		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	トダバイオシステム		
ファミリー 公報番号	JP2002153127A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第51位

出願番号	特願2003-30149	特許番号	なし
発明の名称	植物の栽培装置及び植物の栽培方法		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 植物をより理想に近い快適な生育環境として、高品質な植物を多量に栽培する植物の栽培方法および植物の栽培装置を提供する。【解決手段】 植物の栽培方法は、過去の気象データから、植物が要求する肥料、水、養液の要求量などを推測し、推測された要求量に基づいて、供給量を調整する。要求量が多くなるにしたがって、当日の供給量を増加させる。植物の栽培装置は、検出場所に設けたセンサ2で検出された植物の生育環境に関するデータを収集し、収集されたデータを蓄積し、過去のデータに基づいて植物が要求する水や養液の要求量を含む植物育成条件を推測する。植物育成条件に従って養液供給機制御部26は養液供給機25を制御し、植物への水または養液の供給量を調整する。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	北岡組		
ファミリー 公報番号	JP2004000146A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第52位

出願番号	特願2015-214690	特許番号	特許第6790346号
発明の名称	作業車両の燃料供給システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 圃場内で燃料不足により停止した作業車両に給油する際、圃場に入ることなく遠隔操作で給油できるような作業車両の燃料供給システムを提供する。【解決策】 給油用の燃料を搭載し、遠隔操作により飛行する無人航空機30と、エンジン動力により走行作業を行う作業車両1を有する作業車両の燃料供給システムにおいて、前記無人航空機30の機体下部に給油ノズル36を設け、前記エンジン駆動用燃料の給油口15を前記作業車両1の車体上部に設ける。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	井関農機		
ファミリー 公報番号	JP6790346B2,JP2017081498A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第53位

出願番号	特願2016-107778	特許番号	特許第6555781号
発明の名称	水位管理システム		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】水田等の水の管理を省力化させ、離れた場所から水田の水位調節をすることができる管理システムを提供する。【解決手段】圃場に給水用水門1 a 並びに排水用水門1 b 並びに水位計測用指標を設置し、所定の空路を飛行する無人飛行体2 7 から圃場乃至水位計測指標を撮影する工程と、撮影された画像を無人飛行体から送信する工程と、送信された画像を解析して水位を算出する工程と、所定の基準水位と無人飛行体から送信され解析された水位情報とを比較し、無線モジュールを有した給水用水門若しくは排水用水門に対して開閉指示を送信する。【選択図】図9</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	笑農和		
ファミリー 公報番号	JP6555781B2,JP2016220681A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第54位

出願番号	特願2018-508193	特許番号	特許第6634512号
発明の名称	無人航空機の地形追従飛行のための方法、装置および無人航空機		
要約	<p>(57)【要約】 本発明の実施形態は、無人航空機の地形追従飛行のための方法、装置および無人航空機に関する。前記方法は、無人航空機と地面との間の垂直距離を取得することと、無人航空機と地面との間の斜距離を取得することと、前記垂直距離と斜距離との間の夾角を取得することと、前記夾角、垂直距離及び斜距離に基づいて、前記無人航空機の地形追従飛行の状態を調整することと、を含む。本発明の実施形態を適用した無人航空機によれば、地面との異なる斜距離ごとに、無人航空機が異なる飛行動作をするように制御することができ、これにより、無人航空機は山地、丘陵、段々畑、平原、高い茎の植物等の様々な環境において地形追従飛行を実現することができ、無人航空機の作業効率及び無人航空機の環境への適応能力を向上させるとともに、無人航空機の信頼性及び安全性を高める。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	コアンチョウエックスエアクラフトテクノロジー		
ファミリー 公報番号	AU2017305353A1,AU2017305353B2,CN106292699A,CN106292699B,EP3326041A1,EP3326041B1,ES2917002T3,HUE059027T2,JP6634512B2,JP2018527669A,KR20180023959A,PL3326041T3,US10712751B2,US2019146524A1,WO2018024177A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第55位

出願番号	特願2019-542910	特許番号	特許第6903141号
発明の名称	航空機		
要約	<p>(57)【要約】 航空機（10）は、少なくともひとつのセンサ（58、60）と、高度アクチュエータ（22）と、メモリ装置（42）と、電子的コントローラ（34）とを含む。少なくともひとつのセンサ（58、60）は、航空機（10）の高度と航空機（10）の現在位置と航空機（10）の速度とを検出する。高度アクチュエータ（22）は、航空機（10）の高度を変更する。メモリ装置（42）は、区域の所定の地形データを保存する。電子的コントローラ（34）は、航空機（10）の検出された現在位置と航空機（10）の検出された速度とに基づいて、航空機（10）の将来位置を推定する。電子的コントローラ（34）は、将来位置と航空機（10）の検出された高度と所定の地形データとに基づいて高度アクチュエータ（22）を制御する。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	ヤマハ発動機		
ファミリー 公報番号	JP6903141B2,JPWO2019058505A1,US11644850B2,US2020293066A1,WO2019058505A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第56位

出願番号	特願2018-145894	特許番号	特許第6958508号
発明の名称	収穫作業システム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】コンバインから離れた位置での作物の状態や障害物の存在を、圃場上空を飛行する無人飛行体からの撮影情報によって検出し、収穫作業を円滑に行える収穫作業システムを提供すること。【解決手段】コンバインには、無人飛行体からの情報を受信すると共に、圃場内に設定された走行経路に沿って機体を自動走行させながら収穫作業を行わせる制御部を備え、無人飛行体には、機体に備えたカメラによる撮影情報をコンバインに送信すると共に、圃場上空に設定された飛行経路、またはコンバインの機体に対して設定された位置を飛行させる制御部を備える。また、無人飛行体をコンバインよりも先行する位置に飛行させ、前記カメラによって圃場の植立穀稈を撮影し、この撮影情報から植立穀稈の倒伏状態を検出し、この倒伏状態に応じてコンバインの作業走行速度を変速制御する構成とする。</p> <p>【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	井関農機		
ファミリー 公報番号	JP6958508B2,JP2020018255A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第57位

出願番号	特願2020-503577	特許番号	特許第6752481号
発明の名称	ドローン、その制御方法、および、プログラム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 安全性が高い農業用薬剤散布ドローンを提供する。【解決策】 冗長化された高度測定センサーと速度測定センサーを備え、フライトコントローラーにより、機体が制限高度および制限速度を超えないように制御する。センサーは複数の方式を併用することが望ましい。特に、離陸時の高度はGPSにより、薬剤散布中の高度はソナーにより測定することが望ましい。機体の重量を随時測定し、重量に応じて制限高度と制限速度を調整してもよい。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	NTTE-DRONETECHNOLOGY		
ファミリー 公報番号	CN111556986A,CN111556986B,JP6752481B2,JPWO2019168042A1,US12246835B2,US2021163136A1,WO2019168042A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第58位

出願番号	特願2020-503578	特許番号	特許第6757026号
発明の名称	ドローン、操作機、ドローンの制御方法、操作機の制御方法、および、ドローン制御プログラム		
要約	(57)【要約】【課題】安全性が高いドローンを提供する。【解決策】緊急動作指令を受信可能な受信部22と、操作機10が送信し、受信部が受信する緊急動作指令に基づいて飛行動作を制御する飛行制御部23と、を備えるドローン100であって、緊急動作指令は、ドローンを落下させる緊急停止指令と、ドローンを着陸させる緊急着陸指令と、ドローンをホバリングさせる緊急空中停止指令と、ドローンを所定の地点へ帰還させる緊急帰還指令と、のうちいずれか1つ以上の指令を含む。【選択図】図6		
類似点	対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	NTTE-DRONETECHNOLOGY		
ファミリー 公報番号	CN111566006A,CN111566006B,JP6729962B1,JP2020117221A,JP6757026B2,JPWO2019168043A1,WO2019168043A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第59位

出願番号	特願2020-69507	特許番号	特許第6729962号
発明の名称	ドローン、ドローンの制御方法、および、ドローン制御プログラム		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】安全性が高いドローンを提供する。【解決手段】緊急動作指令を受信可能な受信部22と、操作機10が送信し、受信部が受信する緊急動作指令に基づいて飛行動作を制御する飛行制御部23と操作機が緊急動作指令を送信できない状態にあることを検知する操作機異常検知部とを備えるドローン100であって、緊急動作指令は、ドローンを落下させる緊急停止指令と、ドローンを着陸させる緊急着陸指令と、ドローンをホバリングさせる緊急空中停止指令と、ドローンを所定の地点へ帰還させる緊急帰還指令と、のうちいずれか1つ以上の指令を含み、ドローンの飛行中において操作機異常検知部により操作機が緊急動作指令を送信できない状態にあることが検知される場合、飛行制御部は、ドローンに退避行動を取らせる。【選択図】図6</p>		
類似点	対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	NTTE-DRONETECHNOLOGY		
ファミリー 公報番号	CN111566006A,CN111566006B,JP6729962B1,JP2020117221A,JP6757026B2,JPWO2019168043A1,WO2019168043A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第60位

出願番号	特願2021-574384	特許番号	特許第7359464号
発明の名称	農作物育成システム		
要約	<p>【要約】農作物の病気への罹患に関する判断を行うための手段を農業従事者等のユーザに提供する。ドローン100は、圃場403の上空を飛行しつつ、圃場403に作付けされている農作物を撮影する。ドローン100は、撮影した画像に基づき、作付けされている農作物が病気に罹患しているか否かを診断する。サーバ405は、ドローン100により病気に罹患していると診断された各農作物の再撮影を行うための第2飛行ルートを生成し、この第2飛行ルートに従った農作物の再撮影をドローン100に指示する。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	ナイルワークス		
ファミリー 公報番号	JPWO2021152797A1,JP7359464B2,WO2021152797A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第61位

出願番号	特願2020-219871	特許番号	特許第7538716号
発明の名称	農業機械		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】少なくとも第1無人飛行体及び第2無人飛行体のいずれかによって農業機械の作業の支援を効率よく行うことができるようにする。【解決手段】農業機械は、走行車体と、走行車体に取り付けられ且つ第1無人飛行体に連結された第1ケーブルと、第1無人飛行体と、当該第1無人飛行体とは異なる第2無人飛行体とを連結する第2ケーブルと、を備えている。第1ケーブル及び第2ケーブルは、電力を供給するケーブルである。第1ケーブル及び第2ケーブルは、第1無人飛行体と第2無人飛行体との間で信号を送受信するケーブルである。【選択図】図10</p>		
類似点	対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	AU2021412656A1,CN116528660A,EP4272526A1,JP7472013B2,JP2022104734A,JP7538716B2,JP2022104735A,US2023312146A1,US12263970B2,WO2022145331A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第62位

出願番号	特願2020-219872	特許番号	特許第7532246号
発明の名称	農業支援システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 農業機械と無人飛行体とが連携しながら圃場の作業を行うという場合に、無人飛行体に異常があった場合に適正に対処を行うことができるようにする。【解決手段】 農業支援システムは、センシング装置を備えた無人飛行体と、圃場を走行可能な農業機械と、を備え、無人飛行体と農業機械とが連携しながら圃場の作業を行っている際に、当該無人飛行体に異常が発生した場合、無人飛行体又は農業機械は、作業時の動作と異なる動作を行う。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	AU2021414757A1,CN116709900A,EP4272525A1,JP7532246B2,JP2022104736A,JP2022104737A,JP7490553B2,JP2022104738A,JP7413250B2,JP2022104739A,US2023322423A1,US12420960B2,WO2022145410A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第63位

出願番号	特願2022-554715	特許番号	特許第7703555号
発明の名称	無人航空機		
要約	<p>(57)【要約】本発明は、農地管理のための無人航空機（UAV）に関する。UAVは、制御処理ユニット（20）と、カメラ（30）と、を含む。制御処理ユニットは、UAVを制御することにより、作物の背丈の内部位置へとかつ作物の鉛直方向高さよりも低い位置へと、および／または、複数の作物がなす列同士の間的位置へとかつ複数の作物の鉛直方向高さよりも低い位置へと、飛行させるように構成されている。制御処理ユニットは、カメラを制御することにより、作物の背丈の内部位置でかつ作物の鉛直方向高さよりも低い位置で、および／または、複数の作物がなす列同士の間でかつ複数の作物の鉛直方向高さよりも低い位置で、作物に関連した少なくとも1つの画像を取得するように構成されている。制御処理ユニットは、少なくとも1つの画像を解析することにより、少なくとも1つの病気、少なくとも1つの害虫、および／または、少なくとも1つの栄養不足、を決定するように構成されている。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	バイエル		
ファミリー 公報番号	AR121564A1,CN115243973A,EP3878741A1,EP4117990A1,JP7703555B2,JP2023518176A,US12347105B2,US2023029636A1,WO2021180475A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第64位

出願番号	特願2021-126758	特許番号	特許第7179382号
発明の名称	田畑植物の表現型情報収集システム		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】田畑植物の表現型情報収集システム及び方法を提供する。 【解決手段】田畑植物の表現型情報収集システム及び方法を開示する。表現型情報収集システムは自走式田畑運搬器具に設置される。表現型情報収集システムには、コントローラーおよびコントローラーに接続されたセンサーグループ、GPSモジュールおよび無線通信モジュールが含まれる。センサーグループは、田畑植物の表現型情報を収集する。表現型情報には、RGB画像情報、植物形態の3次元点群データとハイパースペクトルデータが含まれる。GPSモジュールは、自走式田畑運搬器具のリアルタイムの地理情報を取得する。コントローラーは、地上管制センターのユーザーが入力した情報収集位置データ及びリアルタイムの地理情報に従って、センサーグループの開閉を制御し、表現型情報のプレビュー画像を生成し、無線通信モジュールを介してプレビュー画像を地上管制センターに送信する。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	浙江大学		
ファミリー 公報番号	CN112702565A,JP7179382B2,JP2022089140A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第65位

出願番号	特願2023-542327	特許番号	なし
発明の名称	農業支援システム		
要約	【要約】自動走行前に無人飛行体（70）によって圃場（H1）の形状（D1）をセンシングすることで、より正確な圃場（H1）の形状（D1）を取得でき、自動走行の走行予定ライン（L1）を簡単に作成することができるようにする。農業支援システム100は、無人飛行体（70）に設けられ且つ、無人飛行体（70）が圃場（H1）の上空を飛行したときの当該圃場（H1）の形状（D1）をセンシングするセンシング装置（72）と、農業機械（1）の自動運転における走行予定ライン（L1）を作成するライン作成部（50A）と、を備え、ライン作成部（50A）は、農業機械（1）の自動運転前にセンシングによって得られた圃場（H1）の形状（D1）を取得して、当該取得した圃場（H1）の形状（D1）を示す仮想フィールド上に、走行予定ライン（L1）を作成する。		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	AU2022330478A1,EP4388840A1,JPWO2023022009A1,US2024180062A1,WO2023022009A1		

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第66位

出願番号	特願2022-203229	特許番号	なし
発明の名称	無人飛行体システム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】農作物に対して適切な位置関係を維持しつつ無人飛行体を飛行させる。 【解決手段】栽培されている農作物が並ぶ列に沿って連続的に設けられた飛行ガイドと、下方を撮影する撮影装置を有し、飛行する無人飛行体と、前記撮影装置によって撮影された画像を取得し、取得した前記画像に基づいて、前記無人飛行体が前記飛行ガイドの直上から所定量だけ前記農作物側にオフセットした位置を維持しながら、前記飛行ガイドに沿った方向に移動するように制御する飛行制御装置と、を備える。【選択図】図5</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	農業食品産業技術総合研究機構		
ファミリー 公報番号	JP2024088178A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第67位

出願番号	特願2024-567026	特許番号	なし
発明の名称	無人航空機および無人航空機の制御方法		
要約	【要約】無人航空機は、複数のロータを備える無人航空機であって、複数のロータの回転を制御する制御装置をさらに備える。複数のロータは、複数の第1ロータと、少なくとも1つの第2ロータとを含む。制御装置は、無人航空機の重量についての情報を取得し、取得した情報に基づいて、少なくとも1つの第2ロータの回転速度を制御する。制御方法は、複数のロータを備える無人航空機の制御方法であって、複数のロータは、複数の第1ロータと、少なくとも1つの第2ロータとを含み、無人航空機の重量についての情報を取得することと、取得した情報に基づいて、少なくとも1つの第2ロータの回転速度を制御することと、を含む。		
類似点	対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JPWO2024142243A1, WO2024142243A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第68位

出願番号	特願2020-501927	特許番号	特許第7000553号
発明の名称	栽培システム、管理サーバ及び栽培方法		
要約	<p>(57)【要約】 本発明は、作物を容易かつ適切に生長させることができる栽培システムの提供を課題とする。本発明の一態様に係る栽培システムは、1又は複数の端末が、栽培液の吸液量情報を含む作物の生育情報を管理サーバに送信する生育情報送信手段と、管理サーバから生育情報に基づく作物の栽培に適した生育環境情報を受信する生育環境情報受信手段とを有し、管理サーバが、作物を生育するのに適した生育情報に対応する最適生育情報を格納するデータベースと、1又は複数の端末から生育情報送信手段で送信される生育情報を受信する生育情報受信手段と、生育情報受信手段で受信した生育情報をデータベースに格納される最適生育情報と比較し、作物に適した生育環境情報を算出する生育環境算出手段と、生育環境算出手段で算出した生育環境情報を生育情報送信手段で生育情報を送信した端末に送信する生育環境情報送信手段とを有する。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	ヤンマーグループ		
ファミリー 公報番号	JPWO2019163058A1,JP7000553B2,WO2019163058A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第69位

出願番号	特願平10-339788	特許番号	なし
発明の名称	無人ヘリコプタ		
要約	【要約】【課題】 無人ヘリコプタの飛行高度を自動制御するにあたり、圃場の凹凸や作物の形状に影響を受けたり、風等の不安定な外乱に過敏に反応してハンチングを起す不都合を解消する。【解決手段】 送信機8で遠隔操縦される無人ヘリコプタに、地上に設置されたレーザ投光器22から水平方向もしくは任意の傾斜方向に投光されるレーザ光を受光するレーザ受光器21と、該レーザ受光器21が所定の受光位置でレーザ光を受光するように無人ヘリコプタの飛行高度を自動的に制御する飛行高度自動制御手段とを設けると共に、該飛行高度自動制御手段に、レーザ受光器21の受光位置変化速度に応じて飛行高度制御ゲインを自動的に調節する飛行高度制御ゲイン自動調節手段を設ける。		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	三菱マヒンドラ農機		
ファミリー 公報番号	JP2000159194A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第70位

出願番号	特願2021-204806	特許番号	なし
発明の名称	推定装置、推定方法および推定プログラム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】植生指標を、より広く活用することが可能な推定装置、推定方法および推定プログラムを提供する。【解決手段】情報処理装置20は、複数の波長帯域で撮影された植物の画像に基づく前記植物の植生指標と、前記植物の葉および茎の少なくとも一方の生育状態を表す状態指標とを取得する取得部211と、前記植生指標および前記状態指標に基づいて、前記植物の生育量および前記植物の生育に有用な有用情報の少なくとも一方を推定する推定部とを備える。【選択図】図4</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	コニカミノルタグループ 大阪		
ファミリー 公報番号	JP2023090062A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第71位

出願番号	特願2024-525967	特許番号	特許第7653208号
発明の名称	マルチホップネットワークを利用したスマートファームの統合管理システム		
要約	<p>(57)【要約】本発明は、マルチホップネットワークを利用したスマートファームの統合管理システムに関するものであって、より詳細に説明すると、スマートファームのハウス内部に栽培作物の生育環境に対するセンサノードと制御ノードとを設け、互いに隣接した種々のハウスのセンサノードと制御ノードとをドローンノードとともに1つのゲートウェイ (gateway) で連結するマルチホップネットワーク (multi-hop network) を構成し、前記ゲートウェイに連結された管理サーバが栽培作物等の発育状態を評価して、最適の生育環境を提供するように構成されたスマートファームの統合管理システムに関するものである。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	ミドバル		
ファミリー 公報番号	JP7653208B2,JP2025503370A,KR102541165B1,US2025278934A1,WO2024117336A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第72位

出願番号	特願2003-333527	特許番号	なし
発明の名称	農業情報配信システム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 農家及び情報サービス提供者の相互にとって有益な農業情報配信システムを提供する。 【解決手段】 農家2が自動気象観測機器5の気象データ5aを情報サービス提供者1へ提供することのインセンティブとして、情報サービス提供者1から営農支援サービスや情報解析サービスなどの情報サービス1aの提供を受けることにより、農家2は高品質で収量増につながる農産物が生産可能になるなどのメリットがあり、このインセンティブを活用しようと、自動気象観測機器5を使用する情報提供農家2が増えて、それに伴い気象データ5aの収集量が増えることで、営農支援サービスや情報解析サービスなどの情報サービス1aの精度向上が見込まれ、それにより更に自動気象観測機器5を使用する情報提供農家2の地域が拡大して、新たに提供できるサービスが増える。 【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	エスイーシー アグリウエザー		
ファミリー 公報番号	JP2005100130A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第73位

出願番号	特願2017-168580	特許番号	特許第7069609号
発明の名称	作物栽培支援装置		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】作物の生育状態の判断に有用な画像を提供できる作物栽培支援装置を提供する。【解決手段】作物を栽培する圃場（栽培領域）の上空を移動して圃場を撮像する撮像部2と、撮像部2の位置を検出する位置検出部48と、圃場の同一地点の地点画像を撮像部2で撮像した複数の撮像画像に基づいて形成するとともに複数の地点画像を合成する合成部34とを備えた作物栽培支援装置1において、撮像画像上の不具合を有した不具合領域を検出する不具合検出部36を設け、合成部34が不具合検出部36により検出した不具合領域を除いて地点画像を形成する。【選択図】図2</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	コニカミノルタグループ		
ファミリー 公報番号	JP7069609B2,JP2019046149A,JP7318768B2,JP2022107601A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第74位

出願番号	特願2022-74326	特許番号	特許第7318768号
発明の名称	作物栽培支援装置		
要約	<p>(57)【要約】【課題】作物の生育状態の判断に有用な画像を提供できる作物栽培支援装置を提供する。【解決手段】作物を栽培する圃場（栽培領域）の上空を移動して圃場を撮像する撮像部2と、撮像部2の位置を検出する位置検出部48と、圃場の同一地点の地点画像を撮像部2で撮像した複数の撮像画像に基づいて形成するとともに複数の地点画像を合成する合成部34とを備えた作物栽培支援装置1において、撮像画像上の不具合を有した不具合領域を検出する不具合検出部36を設け、合成部34が不具合検出部36により検出した不具合領域を除いて地点画像を形成する。【選択図】図2</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	コニカミノルタグループ		
ファミリー 公報番号	JP7069609B2,JP2019046149A,JP7318768B2,JP2022107601A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第75位

出願番号	特願2019-68649	特許番号	特許第7474031号
発明の名称	圃場情報管理装置、圃場情報管理システム、圃場情報管理装置の制御方法及び圃場情報管理プログラム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 圃場における作物等の植物の生育状態等の情報と、このような植物の実際のリアルな生育状態等を直感的に把握することができる圃場情報管理装置等を提供すること。【解決手段】 端末装置50の表示部53に、植物を生育させるための圃場を含む圃場関連地図情報を表示させると共に、圃場については、圃場で生育されている植物に関する高解像度画像情報が表示され、高解像度画像情報は、圃場の前記植物の成長に関する特定の成長関連情報に関するものに限定される圃場情報管理装置100。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	トプコン		
ファミリー 公報番号	JP7474031B2,JP2020162547A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第76位

出願番号	特願2022-531241	特許番号	特許第7514559号
発明の名称	作物の生育管理装置及び生育管理方法		
要約	【要約】作物の生育状態を判定するためにより適した画像を取得するため仕組みを提供する。カメラにより撮影された画像情報を取得する取得部と、取得した画像情報に基づいて作物の生育状態を判定する判定部と、情報を出力する出力部と、を有する作物の生育管理装置であって、前記出力部は、前記作物の生育状態を判定するための撮影条件に関する情報を出力する。		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	ナイルワークス		
ファミリー 公報番号	JPWO2021255941A1,JP7514559B2,WO2021255941A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第77位

出願番号	特願2019-62697	特許番号	特許第7365783号
発明の名称	圃場情報管理システム、圃場情報管理システムの制御方法及び圃場情報管理システムの制御プログラム		
要約	(57)【要約】（修正有り）【課題】圃場全体の作物等の生育状態等の情報と、圃場の特定の地点等における作物等の詳細な生育状態等の写真等の撮像情報を統合して管理することができる圃場情報管理装置等を提供する。【解決手段】圃場情報管理システム1において、圃場情報管理装置（管理サーバ100）は、端末装置70の表示部73に表示される植物を育成するための圃場を示す圃場地図情報に、撮像装置76の現在位置情報を現在位置情報標識で表示し、撮像装置が撮像情報を撮像した位置情報である撮像位置情報と、撮像情報を関連付けて記憶する。撮像位置情報は、圃場地図情報に表示用のアイコンである撮像情報表示アイコンで表示され、撮像位置表示アイコンを選択することで、対応する撮像情報が、圃場地図情報上に、別の画面で表示する。【選択図】図1		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	トプコン		
ファミリー 公報番号	JP7365783B2,JP2020161052A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第78位

出願番号	特願2016-537750	特許番号	なし
発明の名称	生育状態推定装置、植物生育観測システム、生育状態推定方法、生育指標推定方法およびプログラム		
要約	<p>(57)【要約】 植物体の生育状態をより精度よく推定する。生育状態推定装置は、植物体を撮影した撮影画像を、該植物体の生育特性に基づいて複数の分割領域に分割する分割手段と、前記分割手段によって分割された複数の分割領域の夫々において、該分割領域の画像からなる分割画像データの統計量を、分割領域毎に算出する算出手段と、前記算出手段によって算出された前記統計量に基づいて、前記植物体の生育状態を推定する推定手段と、を備える。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	NECグループ		
ファミリー 公報番号	EP3175701A1,JPWO2016017150A1,WO2016017150A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第79位

出願番号	特願2018-143262	特許番号	特許第6634484号
発明の名称	農業耕作システム及び農業用ドローンの操作方法		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】撒布機からの液体の分配が正確であること及び／又は所望の分布パターン若しくはレベルに従っていることを監視すること及び確認することを含む撒布機からの液体のリアルタイムでの供給及び分配のシステムを提供する。【解決手段】ドローン540の飛行と農業用ブーム型撒布機100による作物中の移動とは、実質的に同時に行われ、農業用ドローンが飛行中の農業用ドローンの後方で運転中の農業用撒布機に作物分析情報を伝達することによって、撒布機はリアルタイムの作物分析情報を利用して、撒布機の運転が可能となる。【選択図】図5</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	トプコンポジショニングシステムズインク		
ファミリー 公報番号	AU2016295325A1,AU2016295325B2,AU2019202384A1,AU2019202384B2,BR112018000999A2,BR112018000999B1,CA2991427A1,CA2991427C,EP3324724A1,EP3324724B1,JP6634484B2,JP2018198609A,JP6384848B1,JP2018527899A,UA123585C2,US9745060B2,US2017015416A1,US10189568B2,US2017334560A1,WO2017014971A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第80位

出願番号	特願平11-258137	特許番号	なし
発明の名称	植物栽培用倉庫システムおよび植物栽培管理方法		
要約	<p>【要約】 【課題】 生育状態を均一にして品質のばらつきを極力少なくすることができるとともに、生育状態を容易に監視することが可能な植物栽培用倉庫システムを提供すること。</p> <p>【解決手段】 栽培容器が収納された収納パレット6を芽出室1から出庫して抑制室へ移送する前に、ラック12の棚16の上段にある収納パレット6を、向い側のラック11の最下段の棚15へ移し替える。収納パレット6が温度・湿度条件や通風条件の異なる場所へ移ることで生育状態を均一化でき、最下段の棚へ移るため生育状態を目視により容易に確認できる。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	三菱ロジスネクスト		
ファミリー 公報番号	JP2001078568A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第81位

出願番号	特願2015-135666	特許番号	なし
発明の名称	作物管理システムおよび作物管理方法		
要約	<p>(57)【要約】【課題】稲等の作物の生産において、換算葉色値等の観察されるデータに基づいて、肥料の量の決定等の施肥管理やその他の農作業を含む肥培管理を、ユーザ端末としてのスマートフォン等を介して支援してくれる作物管理システムおよび作物管理方法を提供する。【解決手段】スマホ1と、スマホ1とインターネット2を介して接続可能な管理サーバ10とを備える。スマホ1にカメラ30が接続されている。稲の葉をカメラ30で撮影することにより得られた画像データから換算葉色値を得ることができる。この換算葉色値を管理サーバ10に送信することにより、例えば、換算葉色値が基準より小さい場合に必要な施肥量の情報が施肥管理のための管理情報として得られる。この管理情報がスマホ1に送られてユーザが閲覧することが可能となる。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	マクセルHD		
ファミリー 公報番号	CN106954385A,CN106954385B,JP6662570B2,JP2016127806A,JP2017012138A,JP2020074795A,US10586353B2,US2017358106A1,WO2016111376A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第82位

出願番号	特願2015-86811	特許番号	なし
発明の名称	作業車両		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 圃場における育成物の生育状況を検知すると共に、その位置情報について従来よりも正確な情報を取得すること。【解決手段】 乗用管理機1は、走行車体2と、走行車体2の位置情報を取得するGPSアンテナ310及び位置情報取得部710と、圃場における育成物の生育状況を検知する左右一対の生育診断センサ410L、410Rと、GPSアンテナ310及び位置情報取得部710により取得された位置情報と、左右一対の生育診断センサ410L、410Rにより検知された育成物の生育状況に関するデータとを対応づけて記憶させる制御回路部700と、を備えたことを特徴とする。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	石川県 井関農機 トプコン 初田工業		
ファミリー 公報番号	JP2016202061A,JP6871491B2,JP2020022490A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第83位

出願番号	特願2019-192087	特許番号	特許第6871491号
発明の名称	作業車両		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】圃場における施肥ブームの角度に基づき、施肥量を調整すること。【解決手段】走行車体2と、走行車体の位置情報を取得する位置情報取得装置と、育成物の生育状況を検知する生育状況検知装置と、取得された位置情報と、検知された育成物の生育状況に関するデータとを対応づけて記憶させる制御装置と、走行車体に設けられた施肥装置100とを備え、施肥装置の左右の施肥ブームは走行車体の側方に沿った収納状態の位置と走行車体の左右方向に突き出した施肥作業状態の位置との間を回動自在に移動し、左側の施肥ブーム110Lと右側の施肥ブーム110Rの移動角度（折り畳み角度）は、それぞれ独立して回動可能であり、移動角度を変更した場合は、移動角度に応じた散布量制御を可能とする。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	石川県 井関農機 トプコン 初田工業		
ファミリー 公報番号	JP2016202061A,JP6871491B2,JP2020022490A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第84位

出願番号	特願2018-161200	特許番号	なし
発明の名称	植物生育装置、植物生育プログラム、および植物生育方法		
要約	<p>(57)【要約】【課題】人工生育工程において生育された植物の苗が、自然栽培工程における目標とする時期に、自然環境に順応できる目標とする生育状態になっているようにすることができる植物生育装置等を提供する。【解決手段】植物生育装置100は、筐体200、環境調節部(5, 8, 9, 11, 12, 13, 20, 78, 95, 98)、および制御部50を備えている。筐体200は、植物1の苗を収容する。環境調節部(5, 8, 9, 11, 12, 13, 20, 78, 95, 98)は、筐体200内の植物1の苗の周辺環境を調節する。制御部50は、植物1の苗が予め定められた目標とする時期に、自然環境に順応できる予め定められた目標とする生育状態になっているように、環境調節部(5, 8, 9, 11, 12, 13, 20, 78, 95, 98)を制御する。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	パナソニックグループ		
ファミリー 公報番号	JP2020031585A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第85位

出願番号	特願2005-109268	特許番号	なし
発明の名称	植物運搬装置及び植物運搬方法		
要約	<p>(57)【要約】【課題】 生育状態が十分に維持された状態で迅速な出荷が可能な植物運搬装置及び植物運搬方法を提供すること。【解決手段】 この植物運搬装置1は、密閉室2内に着脱可能に布設されると共に、栽培対象の植物Aが載置されて、植物Aに栽培水を供給するパイプ型栽培ユニット4と、植物Aに栽培光を照射するLED光源11と、密閉室2の温度及び湿度を調整する空調機12と、密閉室2の外側に設けられた太陽電池パネル13と、外部及び太陽電池パネル13からの電力が並列的に入力されて、これらの電力をLED光源11及び空調機12に対して供給する配電装置15とを備える。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	浜松ホトニクス 光産業創成大学院大学		
ファミリー 公報番号	JP2006288209A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第86位

出願番号	特願2006-316564	特許番号	なし
発明の名称	植物栽培システム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】 栽培者本人が植物栽培を管理するとともに、一、二週に一度程度、現地で農作業を行うことにより、自力で植物栽培を行うことができる植物栽培システムを提供する。【解決手段】 吸水性フィルム24上に植物と養液とを隔離した状態で植物を栽培する水耕ベッド22、植物の生育に必要な量の養液が常時養液槽21に貯留されるように養液を補給し、かつ、予め設定したスケジュールに基づいて点滴を行う灌液・点滴装置23からなる水耕栽培装置2と、温室ハウス3、植物生育に係る環境のデータを計測する環境データ計測機器4b、温室ハウス内の環境を調整するための温室ハウス環境調整機器4c、環境データ等に基づいて温室ハウス環境調整機器を制御させることにより温室ハウス内を設定値に自動制御する温室ハウス環境制御装置4dを備えた温室ハウス自動制御システム5とを備え、補給用の養液が残存する期間は植物が無人で生育できるようにする。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	アニックスプランツワークス		
ファミリー 公報番号	JP2008125479A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第87位

出願番号	特願2017-214208	特許番号	なし
発明の名称	ドローン飛行安定装置及びレーザーゲイジ		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】円錐形レーザー及び円形の光「光の丸」の大きさの変化を視覚的に確認することで、遠近感を認識できる装置を提供する。【解決手段】サーボモーター（チ）にレーザー発振装置（イ）を取り付け、サーボにて入射角度を変えレーザー円の大きさを変化させる（E, F）。レーザー円の大きさを動画カメラ（ヘ）にてパターン認識し一定に保てば、一定の高度（距離）を維持し飛行できる。又、ドローンからレーザー円の底面までの高さPを計測し、円錐形レーザーの頂点の角度W度を計測すれば（H）、地上のレーザー円の直径Qが分かり。そのQと比較することで、撮影された物体の大きさを計測できる。【選択図】図1</p>		
類似点	対象に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	湯田哲		
ファミリー 公報番号	JP2019073258A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第88位

出願番号	特願2025-500462	特許番号	なし
発明の名称	下限高度変更システムおよび無人航空機		
要約	【要約】無人航空機のために用いられる下限高度変更システムが、下限高度を下回らないように無人航空機の高度を制御する制御装置を備える。無人航空機が圃場の上空から農作業を行うときに設定される下限高度が、圃場に植え付けられた作物の種類および農作業の内容の少なくとも1つに応じて異なる。		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JPWO2024171295A1,WO2024171295A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第89位

出願番号	特願2000-294759	特許番号	なし
発明の名称	植物栽培補助システムおよび記録媒体		
要約	【要約】 【課題】 植物の栽培環境や栽培処理を行う時間等が無くても植物栽培を楽しむことのできる植物栽培補助システム、さらには、予め特別な知識が無くても難しい園芸植物の栽培を行うことのできる植物栽培補助システムを提供する。【解決手段】 利用者に貸し付けられた栽培区画で行われる植物栽培の補助をネットワークを介して行う植物栽培補助システムであって、植物栽培を行う栽培区画の貸付けと栽培補助との契約をネットワークを介して行う契約手段と、栽培補助の契約がなされた栽培区画における植物の栽培状況の調査結果を各栽培区画毎に管理する調査結果管理手段と、栽培補助の契約がなされた利用者側からの要求により該契約がなされた栽培区画における上記調査結果をネットワークを介して送信する調査結果送信手段とを備えた。		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	カシオ計算機		
ファミリー 公報番号	JP2002108971A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第90位

出願番号	特願2017-10685	特許番号	特許第6896434号
発明の名称	作業車		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 作業走行ラインに沿って自動的に走行する作業車において、圃場の状態に対応して適切に作業が行えるようにする。【解決手段】 走行機体50の位置を検出する測位部30と、作業走行ラインL01, L02を取得する作業走行ライン取得部とを備える。走行機体50が事前に設定された第1設定速度V1で作業走行ラインL01, L02に沿って走行するように、走行機体50の走行用の変速装置の操作及びステアリング操作を自動的に行う自動走行制御部を備える。人為的に操作される変速操作具が備えられ、自動走行制御部の作動状態において、変速操作具が操作されると、自動走行制御部に優先して、変速操作具の操作位置に対応する変速位置に変速装置が操作される。【選択図】 図13</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	クボタ		
ファミリー 公報番号	JP6896434B2,JP2018117560A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第91位

出願番号	特願2003-313347	特許番号	なし
発明の名称	養液栽培システム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】一般的な栽培者であっても容易に種々の植物を最適状態で栽培することができ、また、経験・知識の豊かな栽培者にあってはそれを最大限に生かせ、さらに、過去の栽培経験を蓄積しその蓄積を活用した学習機能を有する栽培支援システム及び養液栽培システムを提供すること。【解決手段】植物を栽培環境及び肥料濃度等をコンピュータにより自動制御しながら育成するシステムにおいて、栽培者から遠隔の地にある栽培支援センターはネットワークを介して栽培者の栽培手法並びに育成結果を監視し、栽培者に助言を与える栽培支援システムとするとともに、栽培しようとする植物の種類毎に、肥料濃度及び灌水量について規定された既定の栽培メニューを、品種、栽培地域、栽培時期、栽培者の栽培知識、試みようとする栽培手法等により、栽培者自らが前記既定の栽培メニューを自らが栽培しようとする栽培手法に変更可能な養液栽培システムとした。【選択図】 図3</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	渡辺パイプ		
ファミリー 公報番号	JP3577286B2,JP2002297690A,JP2004065265A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第92位

出願番号	特願2001-102258	特許番号	特許第3577286号
発明の名称	栽培支援システム及び養液栽培システム		
要約	<p>【要約】 【課題】 一般的な栽培者であっても容易に種々の植物を最適状態で栽培することができ、また、経験・知識の豊かな栽培者にあってはそれを最大限に生かせ、さらに、過去の栽培経験を蓄積しその蓄積を活用した学習機能を有する栽培支援システム及び養液栽培システムを提供すること。【解決手段】 植物を栽培環境及び肥料濃度等をコンピュータにより自動制御しながら育成するシステムにおいて、栽培者から遠隔の地にある栽培支援センターはネットワークを介して栽培者の栽培手法並びに育成結果を監視し、栽培者に助言を与える栽培支援システムとするとともに、栽培しようとする植物の種類毎に、肥料濃度及び灌水量について規定された既定の栽培メニューを、品種、栽培地域、栽培時期、栽培者の栽培知識、試みようとする栽培手法等により、栽培者自らが前記既定の栽培メニューを自らが栽培しようとする栽培手法に変更可能な養液栽培システムとした。</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	渡辺パイプ		
ファミリー 公報番号	JP3577286B2,JP2002297690A,JP2004065265A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第93位

出願番号	特願2019-105490	特許番号	特許第6953474号
発明の名称	精密農業支援システムおよび精密農業支援方法		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 所望の農作物を生育する精密農業を、リモートセンシングによって支援する。【解決手段】 精密農業支援システムは、測定装置と、記憶装置と、植物種判定部とを具備する。測定装置は、支援対象領域の植生に由来する光の第1スペクトル特性を測定する。記憶装置は、所望の農作物のスペクトル特性が有する特徴を示す種別スペクトルデータベースを格納する。植物種判定部は、種別スペクトルデータベースと、第1スペクトル特性の測定結果とに基づいて、植生に含まれる植物が所望の農作物であるかどうかを判定する。所望の農作物は、稲を含む。植物種判定部は、スペクトル特性に基づいて、農作物の区別、農作物と雑草の区別などをさらに行う。精密農業支援システムは、さらに、異常が発生している領域を特定し、その異常の内容を推定し、異常への対処方法を提供することで早期警告を行う。【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	野崎眞次 サラニアサット		
ファミリー 公報番号	JP6953474B2,JP2020197507A,US11519892B2,US2020386733A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第94位

出願番号	特願2023-87908	特許番号	なし
発明の名称	作業機管理システム		
要約	<p>(57)【要約】【課題】本発明は、複数の自動走行作業車が同時に作業を行う場合に、1台の無人航空機で安全な作業を管理することが課題である。【解決手段】自動走行作業車1と無人航空機31を無線通信回路で繋ぎ、適宜必要時に自動走行作業車1側から無人航空機31に呼び寄せ信号を送信して、上空に飛来した無人航空機31が自動走行作業車1と共に作業状態を写し、管理者の持つ携帯端末42に撮影映像を送信する作業機管理システムとする。</p> <p>【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	井関農機		
ファミリー 公報番号	JP2024171048A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第95位

出願番号	特願2002-166850	特許番号	なし
発明の名称	植物育成装置およびその制御システム		
要約	【要約】 【課題】 植物の最適な育成環境を探るため、LEDを光源とする研究用の植物育成装置とその制御システムを提供する。【解決手段】 断熱壁で囲まれたキャビネット本体2の適宜の一面に開閉扉8を設け、且つ上面5aまたは適宜の側面に照明窓6を設けるとともに、前記照明窓6には、LED照明具16を前記照明窓6と対面するように設置し、且つ前記LED照明具16の近傍または前記キャビネット2の適宜の側面には、前記LED照明具16を制御するLED制御手段を備え、更にキャビネット本体2には、植物の育成状況を検出する育成検出センサーと、植物の育成環境を監視する育成環境監視手段と、前記育成環境を生成する育成環境生成手段の少なくとも一部を備え、適所には前記育成環境監視手段からの情報に基づき前記育成環境生成手段を制御する育成環境制御手段を備える。		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	シーシーエス		
ファミリー 公報番号	CA2392424A1,CA2392424C,DE10230133A1,JP2003079254A,KR100883691B1,KR20030005023A,US6725598B2,US2003005626A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第96位

出願番号	特願2017-171287	特許番号	特許第7076969号
発明の名称	施肥を行う装置、施肥を行う方法およびプログラム		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 安価に施肥量の制御の実現が可能となる技術を得る。【解決手段】 圃場を移動しながら農産物に施肥を行う現用の農機具の制御を行う制御装置100であって、圃場各部における農産物の生育状況をセンシングすることで得た生育データ受付部104と、この生育データに基づく施肥の量を定める施肥量値算出部107と、圃場各部への施肥の量の違いに応じた速度で走行させるための速度信号を生成する速度信号生成部109を備える。 【選択図】 図4</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	トプコン		
ファミリー 公報番号	JP7076969B2,JP2019041729A,US10802471B2,US2019072937A1		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第97位

出願番号	特願2019-55745	特許番号	特許第7142918号
発明の名称	全球測位衛星システム受信機搭載の対空標識		
要約	<p>(57)【要約】 【課題】 ほ場のような不陸の場所でも簡単に設置でき、1台や2台の少ない台数のGNSS受信機搭載の対空標識でも、一人でも、誰でも正確な位置情報を測位できるGNSS受信機搭載の対空標識を提供する。【解決手段】 GNSSアンテナ2を、金属製ケース4の外側に引き出し可能に設けて、GNSSアンテナを金属製ケース4と離して使用できるようにする。対空標識の役割を果たす部分を、金属製ケースと対空標示マグネットシート5に分けて二つの部材で構成して、対空標示マグネットシートを別の図柄の標示を付した対空標示マグネットシートに張り替えて、簡単に別の図柄の対空標識に変えるようにする。</p> <p>【選択図】 図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	農業食品産業技術総合研究機構		
ファミリー 公報番号	JP7142918B2,JP2020052029A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第98位

出願番号	特願2010-57609	特許番号	特許第5657901号
発明の名称	農作物モニタリング方法、農作物モニタリングシステム及び農作物モニタリング装置		
要約	<p>(57)【要約】【課題】 生育中である農作物のモニタリングを行う農作物モニタリング方法、農作物モニタリングシステム、及び農作物モニタリング装置を提供する。【解決手段】 農作物のモニタリングを行うモニタリングサーバ1は、カメラ3により得られた生育中の農作物の画像データを記憶する画像情報DB12Dを備えており、画像情報DB12Dに記憶されている画像データに含まれる農作物の生育状態を判定し、既に購入予約がなされた農作物の生育経過を示す情報の要求を前記クライアント端末から受けた場合、その判定結果が付与された画像データを当該クライアント端末に対して送信する。【選択図】 図2</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	日本総合研究所		
ファミリー 公報番号	JP5657901B2,JP2011192022A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

II-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第99位

出願番号	特願2023-29688	特許番号	なし
発明の名称	作業車両		
要約	<p>(57)【要約】【課題】自動走行する作業車両において、旋回によって実際に移動する位置を想定して、旋回の開始時刻と操舵角を、圃場の条件で補正を行うことで、合致させることを課題とする。【解決手段】車輪にかかる負荷の状態、旋回に入る時間のずれと、スリップによる旋回位置のずれが発生する。この時間ずれと位置ずれを車輪にかかる負荷の状態で補正することで、目標とする位置に合致させることで対応する。【選択図】図4</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	井関農機		
ファミリー 公報番号	JP2024122247A		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

Ⅱ-3 類似出願100件の詳細情報 類似度第100位

出願番号	特願2019-190900	特許番号	特許第6860773号
発明の名称	農地の土壌状態を予測するモノのインターネットシステム及びモデリング方法		
要約	<p>(57)【要約】（修正有り）【課題】農地の土壌状態を予測するモノのインターネットシステム及びモデリング方法を提供する。【解決手段】システムは、本システムの全体的な機能を制御するために用いられ、本システムの主制御装置である少なくとも1つの計算モジュール1を含む。計算モジュール内に、分析してその分析情報に従って予測モデルを構築するための分析ユニットと、対応する学習モデルを構築するように、少なくとも1種の適切な演算機能を有する機械学習ユニットと、をさらに含む。計算モジュールは、情報伝送の仲介として機能するように、モノのインターネットモジュールに電氣的に接続される。モノのインターネットモジュールは、少なくとも1つの検出ユニットに電氣的に接続され、目標環境土壌及び領域に配置され、環境及び土壌条件に対して情報を収集した後に計算モジュール内に返送し、後続分析を行うために用いられる。【選択図】図1</p>		
類似点	圃場や農作物に関する情報を取得し、農業上の状態把握や作業判断に活用する点が類似する。		
出願人	国立陽明交通大学		
ファミリー 公報番号	CN111090923A,CN111090923B,JP6860773B2,JP2020068033A,TWI722609B,TW20222655A,US2021004694A1,US11586948B2		

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）でご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation

■お問合せ先■

イノベーションリサーチ株式会社

住所：〒115-0045

東京都北区赤羽1-59-8 ヒノデビル4階S-4

E-mail：webinquiry@innovation-r.com

URL：<https://www.innovation-r.com/>

本レポートの著作権は、イノベーションリサーチ株式会社に帰属します。

分析にAIを使っているため、重要な情報は一次情報（出願内容など）をご確認ください。

Copyright 2026 Innovation Research Corporation